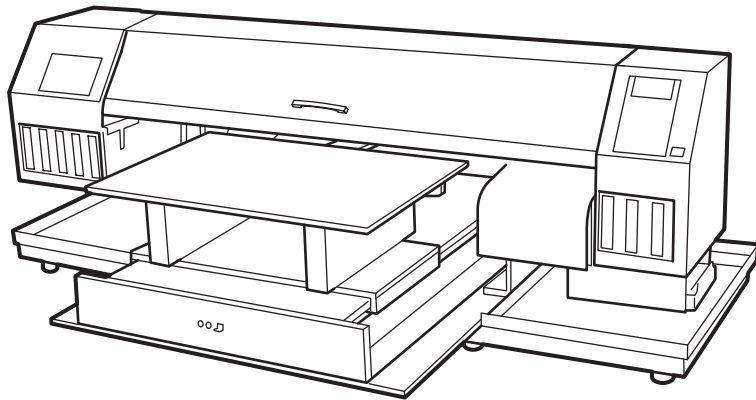
フラットベッドタイプインクジェットプリンタ

GP-604S

取扱説明書

株式会社ミマキエンジニアリング

D201147

はじめに

このたびは、フラットベッドカラーインクジェットプリンタ「GP-604S」をお買いあげいただき、誠にありがとうございます。

「GP-604S」(以下、本装置)は、ソルベントインクで作図する高画質に対応したカラーインクジェットプリンタです。また、フラッドベットタイプなので、さまざまなメディアにプリントできます。

本書をよくお読みになり、本装置を安全に、かつ効果的にお使いいただけますようお願い申し上げます。

ご注意

株式会社ミマキエンジニアリングの保証規定に定めるものを除き、本製品の使用または使用不能から生ずるいかなる損害(逸失利益、間接損害、特別損害またはその他の金銭的損害を含み、これらに限定しない)に関して一切の責任を負わないものとします。
また、株式会社ミマキエンジニアリングに損害の可能性について知らされていた場合も同様とします。
一例として、本製品の使用によるメディア(ワーク)等の損失や、メディアを使用した作成物によって生じた間接的な損失等の責任も負担しないものとします。
本装置を使用したことによる金銭上の損害、および逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

おねがい

- 本書は、本装置を使用する担当者のお手元に確実に届くようお取りはからいください。
- この取扱説明書は、内容について十分注意しておりますが、万一ご不審な点などがありましたら、販売店または弊社営業所までご連絡ください。
- この取扱説明書は、改良のため予告なく変更する場合があります。
- 本書が紛失/破損などにより読めなくなった場合は、新しい取扱説明書を弊社営業所にてお買い求めください。

★ 本書記載の名称は、一般に各社の商標または登録商標です。

電波障害自主規制

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭で使用すると、電波妨害を引き起こすことがあります。
この場合には、使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

本装置の接続において、当社指定のケーブルを使用しない場合は、VCCIルールの限度を超えることが考えられます。必ず、当社指定のケーブルを使用してください。

テレビ／ラジオの受信障害について

本製品は、使用時に高周波が発生します。
不適切な条件下での、本装置の設置または使用は、ラジオやテレビの受信障害が発生する可能性があります。したがって特殊なラジオ／テレビに対しては保証しておりません。
本製品がラジオ／テレビ受信の障害原因と思われましたら、本製品の電源を切ってください。
電源を切り受信障害が解消されれば、本製品が原因と考えられます。
次の手順のいずれか、あるいはいくつかを組み合わせてお試しください。

- テレビやラジオのアンテナの向きを変え、受信障害の発生しない位置をさがしてください。
- 本製品から離れた場所にテレビやラジオを設置してください。
- 本製品とは別の電源供給路にあるコンセントに、テレビやラジオを接続してください。

目　次

1 章　各部の名称とはたらき

2 章　作業の流れ

3章　日常のお手入れ

4章　設定機能について

5章　メンテナンス機能

6 章　困ったときは

付録

索引

本装置のご紹介

本装置の主な特長は次の通りです。

高信頼、高発色の新開発ソルベントインクを使用

新開発のソルベントインクにより、生ターポリン等の市販のメディアがそのまま使用でき、高画質、低ランニングコストを実現しました。
耐水性、耐候性に優れたインクです。（ラミネート不要で屋外対候３年）

簡単インク交換

インクのカートリッジ化により、手を汚さずに、安全かつ簡単にインクが交換できます。

簡単メンテナンス

ヘッドの自動キャッピング方式により、電源をオフする前のヘッド洗浄が不要です。
インク詰まりは、クリーニング機能を実行すると復旧できます。
本装置を使用しないで放置すると、一定時間ごとにインク詰まりを回避する動作を自動的に行います。ただし、主電源をオンにしておく必要があります。
使用していない時間を監視して、電源をオンにしたとき、および印刷開始時に自動クリーニングを実行し、インク詰まり等を防ぎます。

インク残量を表示

使用中のインクの残量を表示して確認できます。無駄なくインクやメディアを使用できます。

プリントヒーター搭載

周囲の温度を検知して温度を制御するため、使用するメディアに最適な加熱温度を設定します。インクの裏抜け防止、発色効果をアップします。

見やすいディスプレイ

プリンターの設定メニューを表示する「ディスプレイ」が見やすい２行表示になりました。
バックライトも付いて、暗い場所での表示認識が可能です。
英語・スペイン語など７ヶ国の表示ができます。

高速インターフェースが使用できます

高速インターフェース「IEEE1394」を使用し、コンピュータからのデータを高速で受信します。

本書の読み方

マニュアルの種類と使い方

本装置には、以下の説明書が付属しています。

セットアップガイド（別冊）

GP-604S を設置する手順を説明しています。

取扱説明書（本書）

GP-604S の取扱方法について説明しています。

日常のお手入れのお願い（別冊）

GP-604S の日常行うお手入れ方法について説明しています。

ディスプレイとキーの表記

本取扱説明書では、操作手順と合わせて、操作パネルのディスプレイに表示する文字や、使用するキーを説明しています。 P.1-4

ディスプレイ表記

四角い枠の中に、表示する内容を文字表記します。
操作手順の説明文に合わせて、確認しながら操作を進めてください。
ディスプレイに表示する設定項目やメッセージを、文章中では[タイプ 1]、[シバラク　オマチクダサイ]のように[　　]で説明しています。

FUNCTION
セッテイ　　　　<ENT>

セッテイ
センタク　　　　：タイプ゜

操作キー

本文中では、操作キーを【カッコ】で説明しています。

【▲】【▼】はジョグキーを意味します。
その他の操作キーは、【FUNCTION】のように操作キーの名称を【　　】の中に表記します。
P.1-4

本文中のマーク表示について

本書では、マークを使用して操作上の注意点を説明しています。
各マークの持つ意味をご理解し、本装置を安全に正しくお使いください。

★「警告」マークは、表示の指示を無視して誤った取り扱いをすると、火災や中毒を起こす可能性を示しています。必ずよくお読みになり、正しくお使いください。

★「注意」マークは、表示の指示を無視して誤った取り扱いをすると、軽傷または中程度の障害を招くことがありうる、危険の可能性がある状況を示します。

★ 文字のみの「注意」マークは、表示の指示を無視して誤った取り扱いをすると、財物損傷を引き起こすことがありうる、危険の可能性がある状況を示します。

重 要!

★「重要」マークは、人身にからまない注意事項を示します。

●「ヒント」マークは、知っておくと便利なことが書かれています。
操作の参考にしてください。

● 関連した内容の参照ページを示しています。

本書の構成

本書は、６つの章に分けて本装置の取り扱いについて説明しています。

はじめに

本装置を使用する前に、理解していただきたいことや、本書の読み方を説明しています。

はじめに

１章　各部の名称とはたらき

本装置の各部の名称とはたらきについて説明します。

1

２章　作業の流れ

電源のオンからプリント終了までの一連の動作、設定について説明します。

2

３章　日常のお手入れ

廃インクタンクの交換方法や、各部の清掃方法について説明します。

3

４章　設定機能について

設定機能について説明します。

4

５章　メンテナンス機能

メンテナンス機能、ワイパの交換方法などについて説明します。

5

６章　困ったときは

本装置になんらかの異常が発生した場合のトラブルの解消方法について説明します。

6

付録

本装置の仕様、お問い合わせシート、機能フローチャートを載せています。

付録

安全にお使いいただくために

マーク表示について

本書では、マークを使用して操作上の注意点を説明しています。
各マークの持つ意味をご理解し、本装置を安全に正しくお使いください。

	★「警告」マークは、表示の指示を無視して誤った取り扱いをすると、火災や中毒を起こす可能性を示しています。必ずよくお読みになり、正しくお使いください。
	★「注意」マークは、表示の指示を無視して誤った取り扱いをすると、軽傷または中程度の障害を招くことがありうる、危険の可能性がある状況を示します。

	△マークは、注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。△中に具体的な注意事項（左図の場合は感電注意）が描かれています。
	⃠ 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が書かれています。
	● 記号は、行為を強制したり、指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は、差し込みプラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

使用上の警告、注意

以下をよく読み、必ず守ってください。

⚠ 警　告

- 換気の悪い部屋、または密閉された部屋で使用する場合は、必ず換気装置を設けてください。
- 電源ケーブルのプラグは、必ずアース処理したコンセントに差し込んでください。接続しないと火災・感電の原因になります。
- 付属の電源ケーブルを使用してください。付属の電源ケーブルを使用しないと火災・感電の原因になります。
- 電源ケーブルを傷つけたり、破損 / 加工しないでください。
  また、重い物をのせたり加熱したり、ひっぱると電源ケーブルが破損し、火災、感電の原因になります。
- 本装置で使用する専用インクは、危険物第 4 類第 2 石油類または危険物第 4 類第 3 石油類に該当します。引火する可能性があるため、本装置を使用する場所は火気厳禁としてください。
- 湿気の多い場所での使用や、装置に水をかけないでください。火災や感電、故障の原因になります。
- 万一、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常事態のまま使用すると、火災・感電の原因になります。すぐに、電源スイッチをオフにして、その後必ずプラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認してから、販売店または弊社営業所に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対にしないでください。
- 本装置やインクカートリッジの分解・改造は、絶対に行わないでください。感電や故障の原因になります。
- テーブル上のヒーター部分に、ホコリやゴミ等が付着しないようにしてください。発火、火災の原因になります。

⚠ 注 意

ヒーターに注意

★ テーブルのヒーターが熱いうちに素手で触らないください。火傷の原因になります。

★ 本装置を移動する場合は、ヒーターの温度が十分下がった状態で行ってください。目安として、ヒーターの電源を OFF にしてから 30 分以上お待ちください。なお、本装置の移動は、段差のない同一フロアー内とします。移設の場合は、弊社営業所、または販売店にご連絡ください。

インクについて

★ インクは、有機溶剤を使用しております。皮膚に付着した場合は、直ちに石けん水で洗った後、水で十分に洗い流してください。
万一、インクが目に入った場合は、直ちに大量の清浄な水で 15 分以上洗い流し、まぶたの裏まで完全に洗い流してください。できるだけ早く医師の診察を受けてください。

★ 誤ってインクを飲み込んだ場合は、安静にして直ちに医師の診断を受けてください。嘔吐物は、飲み込ませないください。その後、毒物管理センターに連絡してください。

★ インクの蒸気を大量に吸い込んで気分が悪くなった場合は、直ちに空気の新鮮な場所に移り、暖かくして安静にしてください。また、直ちに医師の診察を受けてください。

メンテナンスについて

★ インクステーションやヘッドをクリーニングする際は、必ず付属のゴーグルと手袋を着用してください。

注意とお願い

インクカートリッジの取り扱い

★ 専用のインクカートリッジをお使いください。

★ インクカートリッジや廃インクタンクは、子供の手の届かない場所に保管してください。

★ インクカートリッジのインクは、詰め替えないでください。
インクを詰め替えて使用して生じた不具合について、弊社はいっさい責任を負いかねます。

★ 廃インクは、産業廃棄物の廃油に該当します。産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。

★ カートリッジを寒い所から暖かい所に移した場合は、3時間以上室温環境下に放置してから利用してください。

★ カートリッジは、取付直前に開封してください。開封した状態で長時間放置しておくと、正常に作図できない場合があります。

★ カートリッジは、開封してから3カ月以内に使い切ってください。開封後、長時間経過したものは、作図品質が低下します。

★ カートリッジは、冷暗所で保存してください。未開封状態で1年間の保存が可能です。

★ 専用インク以外を使用すると、故障の原因になります。専用インク以外を使用して故障した場合の修理は、お客様の負担になりますのでご了承ください。

★ インクカートリッジを強くたたいたり、激しく振り回さないでください。カートリッジからインクが漏れることがあります。

★ インクカートリッジの基板接点部分は、手で触れたり、汚したりしないでください。基板の故障の原因になります。

★ インクカートリッジは分解しないでください。

★ 空になったインクカートリッジは、産業廃棄物の処理業者に処理を依頼してください。

フロントカバーについて

★ プリント中にフロントカバーを開けないでください。プリントが終了してしまいます。

ホコリから守る

★ できるだけホコリの少ない部屋で使用してください。悪環境下では、リフレッシュレベルを2または3に設定してください。
取扱説明書　P.4-10

★ 作図しないときも必ずフロントカバーは閉めておいてください。ホコリがヘッドノズルに付着する原因になります。

★ メディアは袋に入れて保管してください。メディアに付着したホコリを拭き取ると、静電気により逆効果になってします。

★ キャッピングステーション、およびワイパの拭き掃除（ホコリ、糸くず）は、毎日行ってください。
ヘッドのホコリは、プリント中に突然インクの雫がヘッドからメディアに落ちる原因になります。この場合は、ヘッドをクリーニングしてください。P.2-7, 4-9

装置の移動について

★ お客様による本装置のみの移動は、段差のない同一フロアー内とします。
違うフロアへの移動の際は、弊社営業所、または販売店にご連絡ください。

メディアについて

★ カールのきついメディア、シワの多いメディアは、カールやシワを取り除いてから使用してください。カールやシワが多いと、画質に影響を及ぼします。

定期交換部品があります

★ 本装置には、定期的に交換する部品があります。保守契約が必要となります。

警告ラベルについて

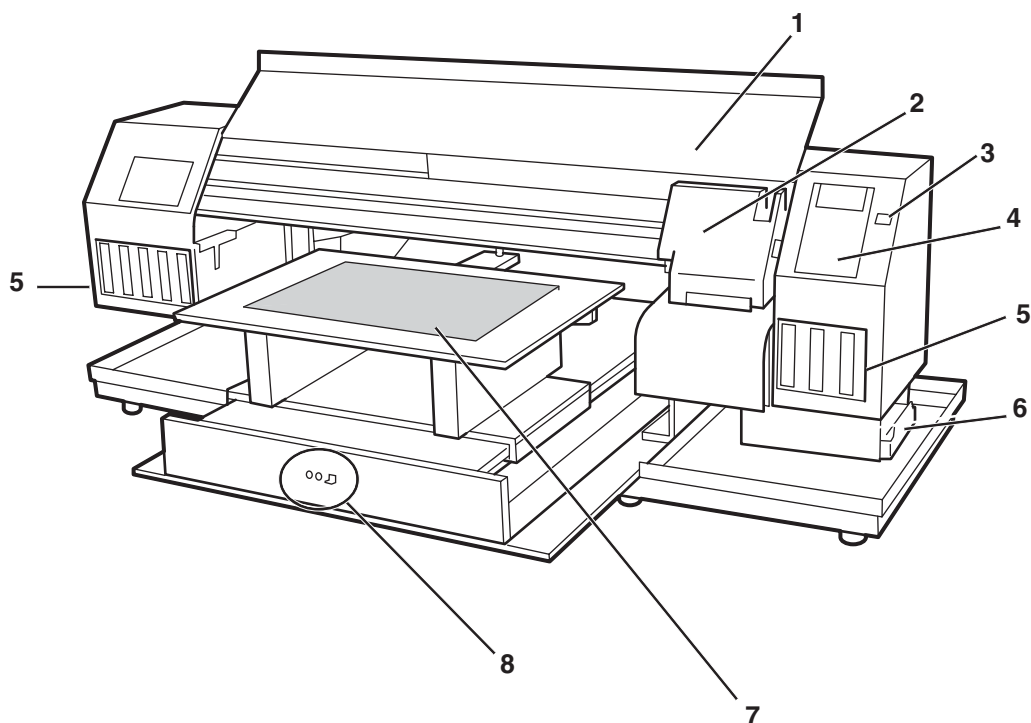
本装置には、警告ラベルが貼ってあります。警告ラベルの内容を十分理解してください。
警告ラベルが汚れて読めなくなったり、剥がれた場合は、新しい警告ラベルを販売店または弊社営業所にてお買い求めください。

ラベルの位置

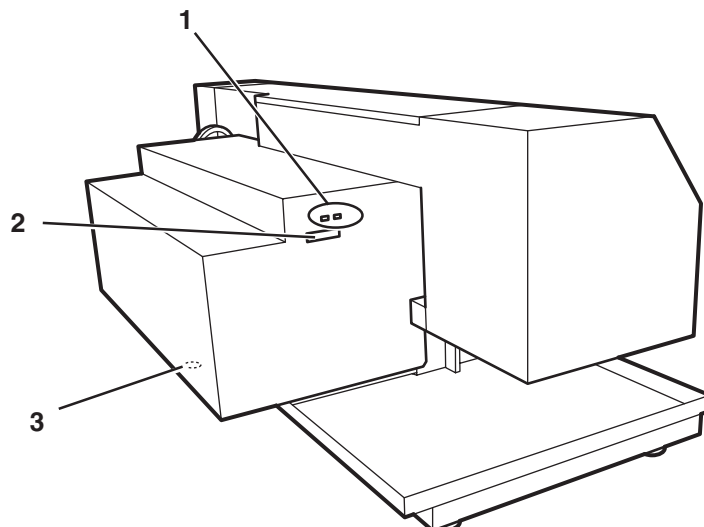
1 章
各部の名称とはたらき

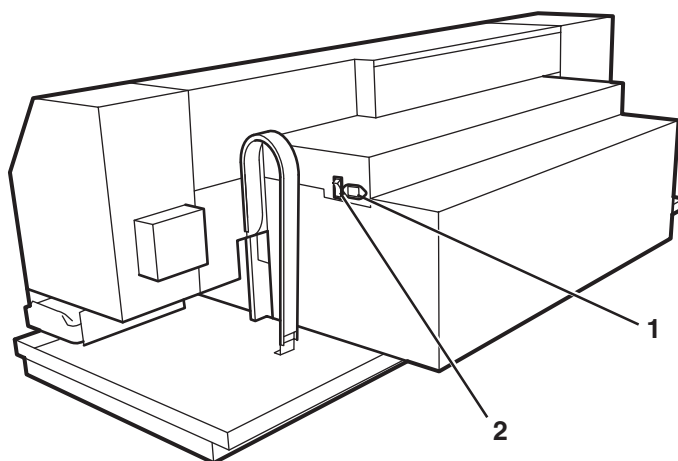
本装置の各部の名称とはたらきについて説明します。

本章の内容

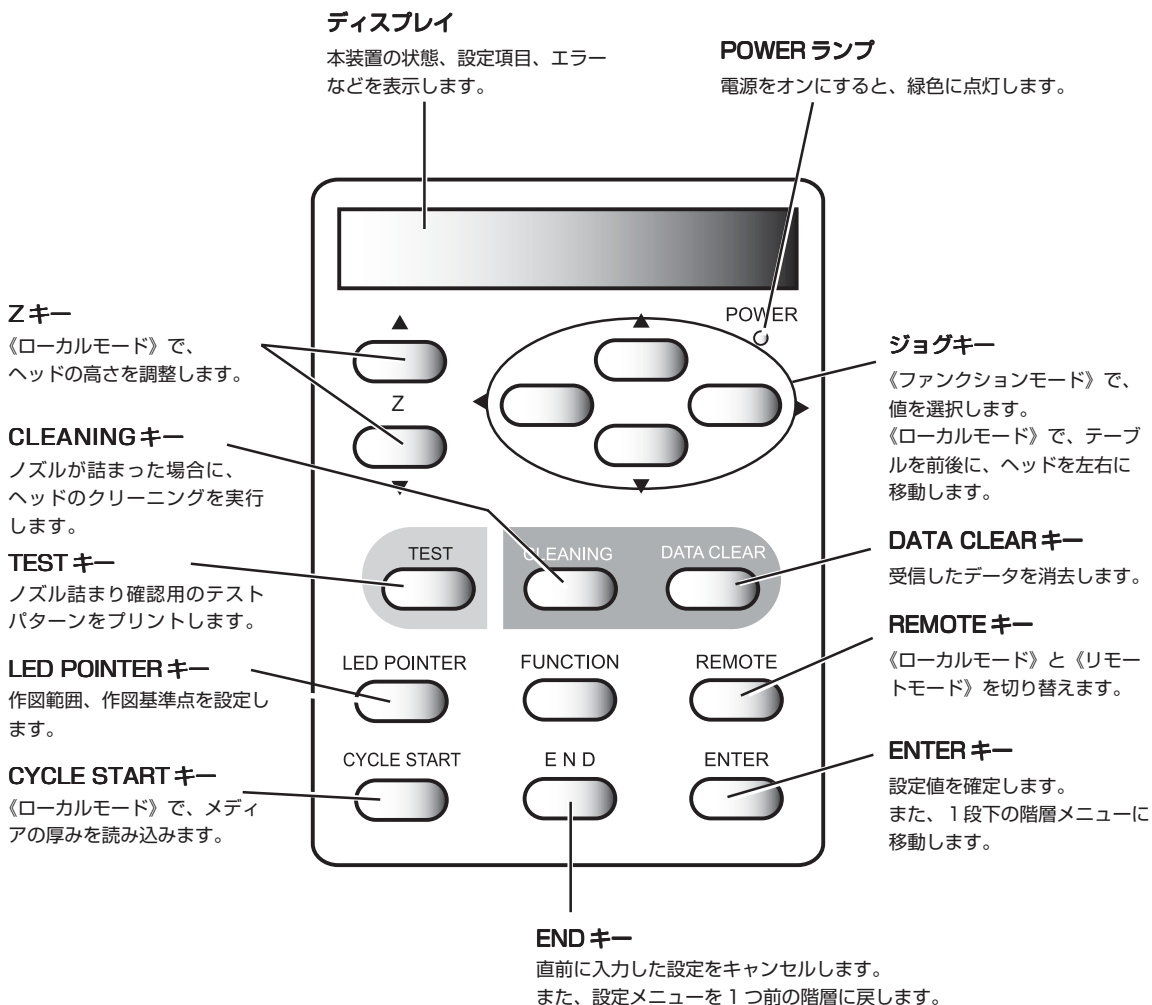
装置前面

	名　称	はたらき
1	フロントカバー	ステーション部分をホコリから守ります。メンテナンスの際、カバーを開けます。
2	キャリッジ	プリントヘッドがあり、左右に移動します。
3	電源スイッチ	電源をオン / オフします。 オンにすると、操作パネルの POWER ランプが緑色に点灯します。 主電源スイッチ（右背面）をオンにしていれば、電源スイッチをオフにしても、定期的にインク詰まり防止動作（スリープリフレッシュ機能）を行います。P.2-3, 2-14
4	操作パネル	各機能の設定を行う操作キーや、操作項目を表示するディスプレイがあるパネルです。P.1-4
5	インクステーション	専用のインクカートリッジをセットします。P.1-8
6	廃インクタンク	クリーニングなどに使用したインクが溜まります。P.3-9
7	テーブル	メディアをセットし、プリントします。ヒーターを内蔵しているため、高温になります。
8	ヒーター用電源スイッチ	ヒーターの電源をオン/オフします。P.1-6

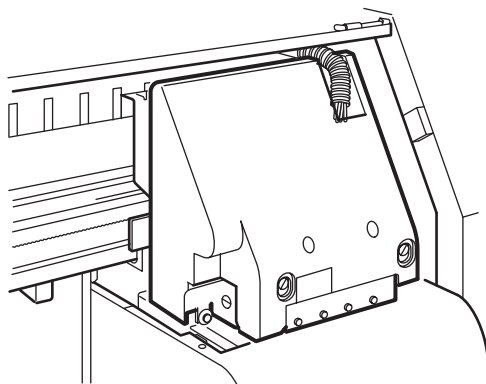
装置背面

左背面

	名　称	はたらき
1	IEEE1394 コネクタ	IEEE1394 準拠のコネクタを接続します。
2	IEEE1284 コネクタ	本装置では使用しません。
3	電圧セレクタスイッチ	使用する電源電圧に合わせて、ヒーターの電圧を設定します。 P.1-7

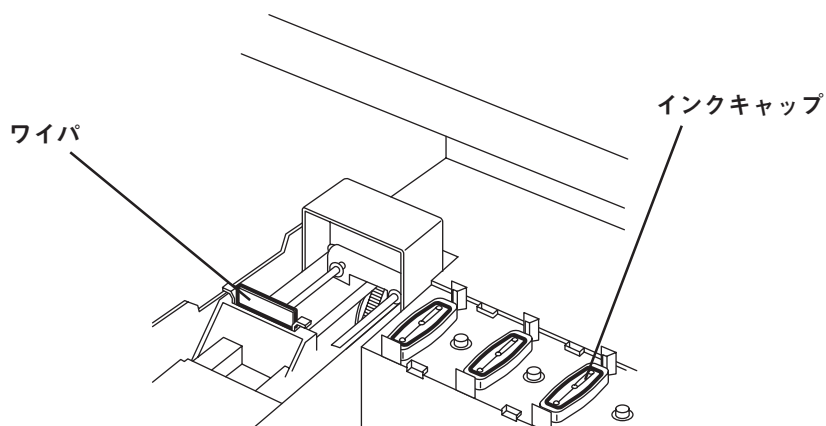
右背面

	名　称	はたらき
1	AC インレット	電源ケーブルを接続します。
2	主電源スイッチ	インク詰まり防止のため、常にオンにしておきます。 P.2-3

操作パネル

操作パネルは、プリント方法の設定、各種操作に使用します。

キャリッジ

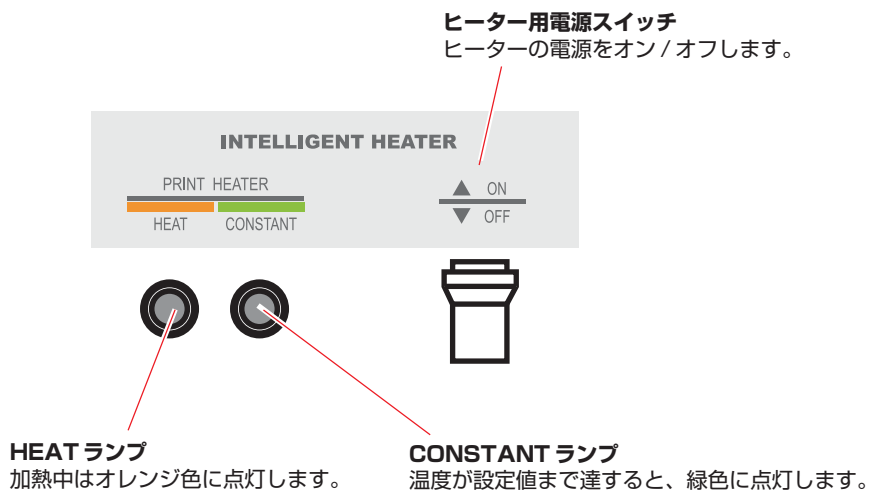
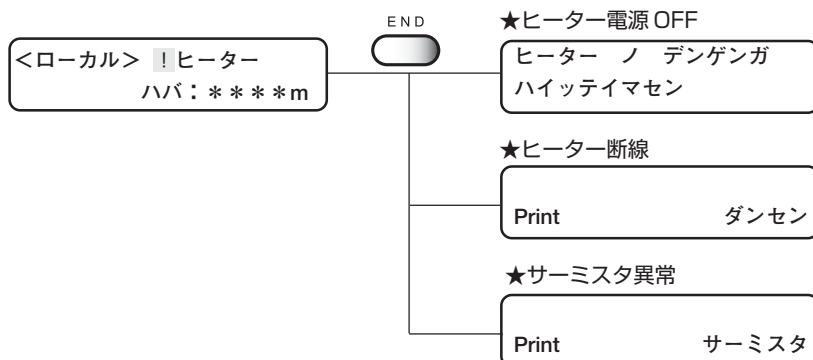
キャリッジには、プリント用のインクヘッドが付いています。
また、メディアの厚みを読み取るセンサー、プリント開始位置を決めるLEDポインタが付いています。

キャッピングステーション

キャッピングステーションは、インクキャップやヘッドのメンテナンスに必要なワイパなどで構成しています。
インクキャップは、インクヘッドのノズル乾きを防ぎます。
ワイパは、ヘッドのクリーニングに使用します。
ワイパは、消耗品です。ワイパが変形したりメディアが汚れる場合は、新しいワイパに交換してください。☞ P.5-5

★ キャッピングステーション内をクリーニングする場合は、必ず付属のゴーグルを着用してください。

ヒーターについて

本装置は、テーブル上にヒーターを内蔵しています。
ヒーターで適度な熱をあたえると、メディアの裏側にインクが抜けるのを防止し、さらに発色効果を高めます。

ヒーターの状態を２つのLEDランプで表示します。
本装置の電源をオフにすると、ヒーターの電源もオフになります。

注意 ★ **ヒーターの電源をオンにすると、ヒーター部分が熱くなります。ご注意ください。**

- **CONSTANTランプ点灯中にHEATランプが消灯することがあります。**
  この時、ヒーターの温度が設定温度に達し、加熱を中断しています。
  異常ではありません。
- **ヒーターに異常が発生すると、ディスプレイに[!ヒーター]と表示します。**
  【END】キーを押すと、エラーの詳細を表示します。 **P.6-7**

ヒーター電圧を設定する

本装置を使用する電源電圧に合わせて、ヒーターの電圧を設定します。
工場出荷時は、安全のため220Vに設定しています。110Vで使用する場合は、本装置背面の電圧セレクタを切り替えます。

★ 電圧セレクタを110 Vの設定で本装置を200～240 Vの電源に接続した場合、本装置が破損する原因になります。

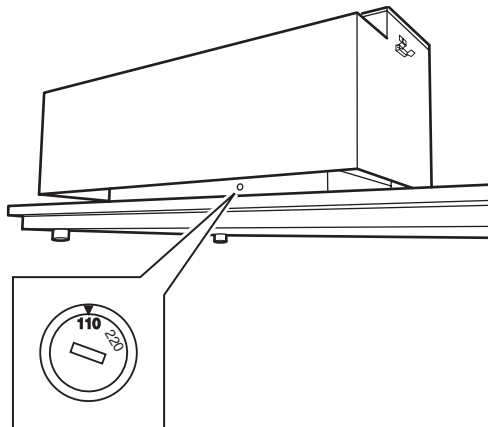
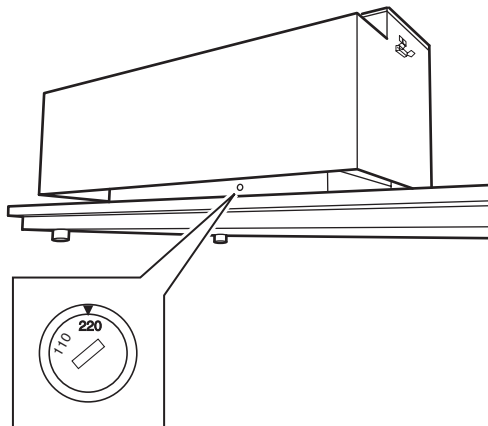
★ 電圧セレクタを220 Vの設定で本装置を100～120 Vの電源に接続した場合、ヒーターの温度が設定した温度まで上がりません。

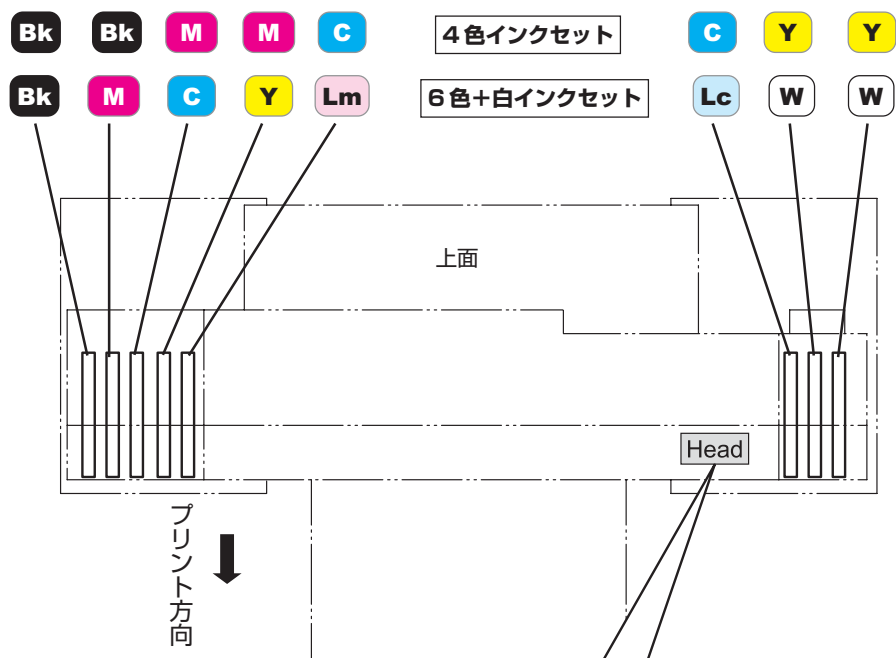
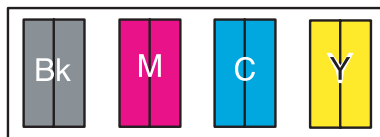
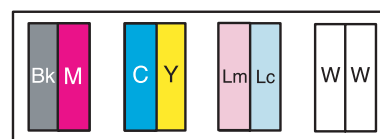
● 電圧セレクタを切り替える場合は、マイナスドライバを使用してください。

100～120 Vに接続する場合

200～240 Vに接続する場合

1

各部の名称とはたらき

インクステーション

キャリッジには、４つのヘッドを搭載しています。
１つのヘッドには、２列のノズルを配置しています。１列のノズルに対して１色のインクが対応しています。
インクステーションには、各色２本ずつカートリッジをセットします。
ヘッドのノズル詰まりのチェックや、インクエンドとなったカートリッジの交換、インクを充填する場合の対応関係にご注意ください。
インクステーションのカートリッジは、初期充填の際に選択した４色または６色＋白インクのインクセットにより異なります。（インクセットを変更する場合

※ Bk:ブラック /M:マゼンタ /C:シアン /Y:イエロー /Lc:ライトシアン / Lm:ライトマゼンタ /W: ホワイトを示します。

モードについて

本装置には、次の 3 つのモードがあります。

ローカルモード

初期動作後のモードです。
全てのキーが有効です。
コンピュータからのデータを受信できます。ただし、プリントはできません。
ローカルモードでは以下の操作が可能です。

1. 【CYCLE START】キーを押します。 → メディアの厚さを読み込みます。
（読み込み後は、リモートモードになります。）
2. 【FUNCTION】キーを押します。 → 各種機能を設定します。
（ファンクションモードへ）
3. 【TEST】キーを押します。 → テストパターンを印刷します。
4. 【CLEANING】キーを押します。 → ヘッドをクリーニングします。
5. 【DATA CLEAR】キーを押します。 → 受信したデータを消去します。
6. 【LED POINTER】キーを押します。 → 作図範囲、作図基準点を指定します。
7. ジョグキーを押します。 → 原点を設定します。
8. Z キーを押します。 → ヘッドの高さを調整します。

ファンクションモード

ローカルモード時に【FUNCTION】キーを押すと、ファンクションモードになります。
各ファンクション機能を設定します。

リモートモード

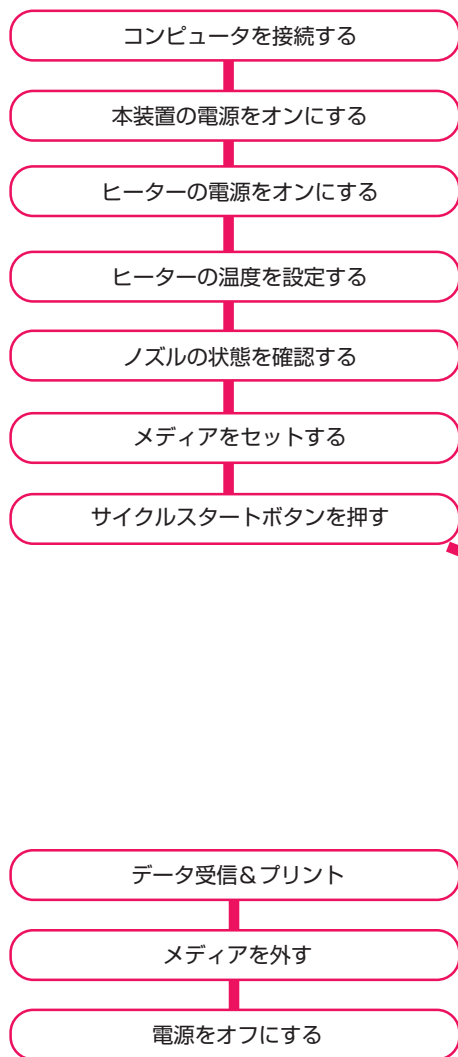
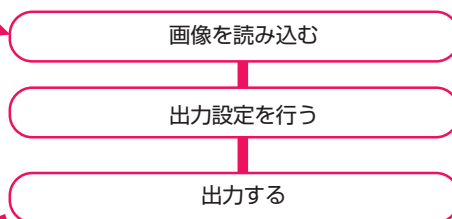
受信したデータをプリントします。
プリント中に【REMOTE】キーを押すと、一時停止します。

2章
作業の流れ

プリントするために必要な操作、基本的な設定について説明します。

本章の内容

プリントの流れ

電源のオンからプリントが終了するまでの作業の流れは、以下の通りです。

電源をオンにする

本装置には、３つの電源スイッチがあります。

主電源スイッチ　：本装置の背面にあります。常にオンにしておきます。☞ P.1-3
オフにしたまま放置すると、ヘッドのノズルが目詰まりを起こす原因になります。症状によっては、復旧が困難な場合があります。

電源スイッチ　：本装置の前面にあります。通常はこのスイッチを使用してください。
１回押すと本装置の電源がオンになります。もう一度押すと、オフになります。オフになっていても、定期的に電源がオンになり、ノズル詰まり防止機能が動作します。（スリープリフレッシュ機能）
☞ P.1-2

ヒーター用電源スイッチ　：本装置の前面（テーブルの下）にあります。☞ P.1-2,1-6

（重要！）
- ★ **フロントカバーが閉じていることを確認してください。**
  フロントカバーが開いていると初期動作を行いません。
- ★ **電源をオンにすると、初期動作に入る前にブザーが鳴ります。機械が動作を開始しますので、ご注意ください。**

操作手順
1. コンピュータの電源が入っていない状態で、コンピュータと本装置を接続します。

2. 本装置背面の主電源スイッチを押します。

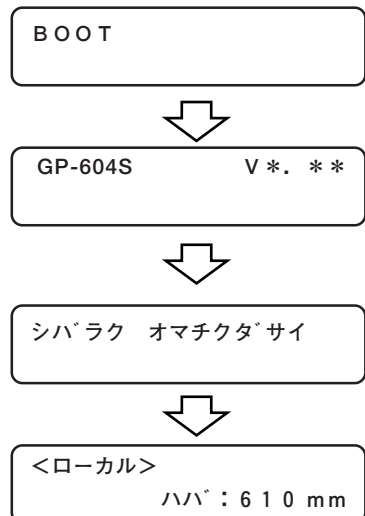
3. 本装置前面の電源スイッチを押します。

   [BOOT]を表示し、続けてファームウェアのバージョンを表示します。

   XYZ 軸各方向の初期動作を実行します。
   [シバラク　オマチクダサイ]の表示が点滅します。

   初期動作終了後、ローカルモードになります。

4. 接続してあるコンピュータの電源をオンにします。

2
作業の流れ

フロントカバーについて

フロントカバーの開閉について

★ プリント中にフロントカバーを開けないでください。プリント中にカバーを開けると、プリントが中断し、継続できなくなります。
★ フロントカバーは、取っ手を持って開閉してください。樹脂面を持って開閉すると破損の原因になります。

プリント中にフロントカバーを開けると、安全のためキャリッジが停止し、本装置のプリント動作が止まります。
この場合、次の操作手順で本装置、およびコンピュータを再起動してください。

プリント中にフロントカバーを開けてしまったら

1. プリント中にフロントカバーを開けると、メッセージを表示します。
   プリントを停止します。

```
カバ゛ーヲ　シメテクダ゛サイ
```

2. コンピュータからのデータ送信を停止します。

3. フロントカバーを閉めます。

```
（　COVER　OPEN　）
<ENT>ヲ　オシテクダ゛サイ
```

4. 【ENTER】キーを 1 回押します。
   キャリッジが動き始めます。
   本装置の電源をオンにした時と同じ初期動作を行います。☞ P.2-3

   [データクリア]を実行する必要はありません。
   データは自動的に削除されます。

ENTER

```
ショキカチュウ
シバ゛ラク　オマチクダ゛サイ
```

ヒーターの温度を設定する

ヒーターの電源を入れる前に、メディアに適する温度に設定します。

重要！

★ **本装置は、20～35℃の環境で使用してください。**
周囲の温度条件により、設定値まで温度が上昇しない場合があります。

★ **適温は、使用素材や環境により異なります。印字がはっきりと鮮やかに出るまで温度を上げてください。**

操作手順

1. ローカルモードになっていることを確認します。
   リモートモード時は、【REMOTE】キーを押してローカルモードに戻します。

REMOTE

<ローカル>
ハハ゛：６１０ mm

2. 【FUNCTION】キーを押します。

FUNCTION

FUNCTION
セッテイ　　　　　< ENT >

3. 【ENTER】キーを押します。

ENTER

セッテイ
センタク　　　　：タイプ　1

4. ジョグキー【▲】または【▼】を押して、タイプを選択します。 P.4-4

セッテイ
センタク　　　　：タイプ　3

5. 【ENTER】キーを押します。

ENTER

タイプ　3
フィードホセイ　　　< ent >

6. ジョグキー【▲】または【▼】を押して、[ヒーター]を選択します。

タイプ　3
ヒーター　　　　　< ent >

7. 【ENTER】キーを押します。

ENTER

8. 【ENTER】キーを押します。

ENTER

タイプ　3
プリントヒート　　　< ent >

9. ジョグキー【▲】または【▼】を押して、温度を設定します。

タイプ　3
プリントヒート　　：５０℃

OFF/20～60℃
OFF/68～140°F

● **薄手のメディアは温度を低めに、厚手のメディアは温度を高めに設定します。**

10. 【ENTER】キーを押します。

ENTER

タイプ　3
プリントヒート　　　< ent >

11. 【END】キーを３回押します。
    ローカルモードに戻ります。

END

<ローカル>
ハハ゛：６１０ mm

12. ヒーターの電源をオンにします。
    設定温度に達すると、CONSTANT ランプが緑色に点灯します。 P.1-6

ノズル詰まりを確認／解消する

メディアにプリントする前に、リーフ紙にテストパターンをプリントします。プリント結果を見て、ノズル詰まりなどのプリント不良がないか確認します。
異常がある場合は、クリーニング機能を実行します。

テストパターンをプリントする（テストサクズ）

操作手順

1. テーブルにリーフ紙をセットします。

2. ローカルモードで、ジョグキーを押して、原点を設定する位置までキャリッジを移動させます。

＜ローカル＞
ハバ゛：６１０ mm

● **LEDポインタの点灯している点が、表示座標になります。**

3.【ENTER】キーを押します。

ENTER

ゲンテンセッテイ
0.0　　30.0

4.【TEST】キーを押します。

TEST

テストサクズ゛
＜ＥＮＴ＞

5.【ENTER】キーを押します。
テストプリントを開始します。
プリント終了後、テーブルが最前面に移動し、ローカルモードになります。

ENTER

＊＊　テストサクズ゛　＊＊

＜ローカル＞
ハバ゛：６１０ mm

6. プリント結果を確認します。
正常な場合は、操作を終了します。
異常がある場合は、次項に進みます。

正常なパターン

異常なパターン

ノズルが汚れている　インクが詰まっている

異常なパターンの場合は（クリーニング）

操作手順

1.【CLEANING】キーを押します。

CLEANING

クリーニング゛	
タイプ゜	：ノーマル

2. ジョグキー【▲】または【▼】を押して、クリーニング方法を選択します。

ノーマル:
線の抜けがある場合に使用します。
ソフト:
線の曲がりがある場合に使用します。
キョウリョク:
ノーマル、またはソフトのクリーニングを実行しても異常な場合に使用します。

クリーニング゛	
タイプ゜	：ノーマル

クリーニング゛	
タイプ゜	：ソフト

クリーニング゛	
タイプ゜	：キョウリョク

3.【ENTER】キーを押します。
クリーニング動作を開始します。動作の進行状況を＊表示で知らせます。

ENTER

クリーニング゛チュウ
＊＊＊＊＊ーーーーーーーーーー

クリーニングを終了すると、ローカルモードに戻ります。

＜ローカル＞
ハバ゛：６１０ mm

4. 再度テストパターンをプリントし､結果を確認します。☞ P.2-6
結果が正常になるまで、クリーニング動作（手順 1 〜 3）を繰り返します。

重 要! ★ **クリーニングを繰り返しても作図不良が直らない場合は、ワイパとインクキャップを清掃してください。☞**

2
作業の流れ

メディアをセットする

メディアはシワをとってから、平らな状態でセットしてください。

★ ヒーター加熱中は、テーブルが熱くなっています。火傷に注意してください。手袋をして作業することをお薦めします。

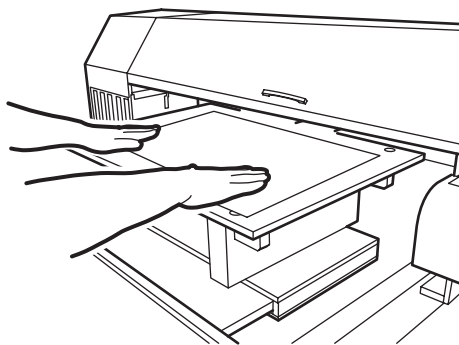
重要!
★ シワの多いメディア、カールのきついメディアは、プリント前にプレスして、カールやシワを取り除いてください。画質不良の原因になります。
★ 連続してプリントする場合は、水を含ませた布でテーブル、またはプレートについたインクを拭き取ります。

操作手順

1. テーブルが前に出ていることを確認し、テーブルにメディアをセットします。

必要に応じて、Zキー【▲】【▼】を押してヘッドを上げ、十分なエリアを確保してからメディアをセットします。

重要! ★ Zキーでヘッドを上げた場合、メディアセット後に【END】キーを押してヘッドの高さを戻してください。【ENTER】キーを押すと、ヘッドの高さが変更されてしまいます。

● ファンクション機能の[ワークチェンジ]を有効にすると、プリント終了後、ヘッドが自動的に上がります。P.4-9

メディアの厚みを読みとる

メディアの厚みをセンサーで読み取り、読みとった厚みに追従してヘッドが動きます。

操作手順

1. ローカルモードになっていることを確認します。
リモートモード時は、【REMOTE】キーを押してローカルモードに戻します。

```
<ローカル>
        ハハ゛：610 mm
```

2.【CYCLE START】キーを押します。
有効プリント範囲を読み取り、メディアの厚みを読みとります。

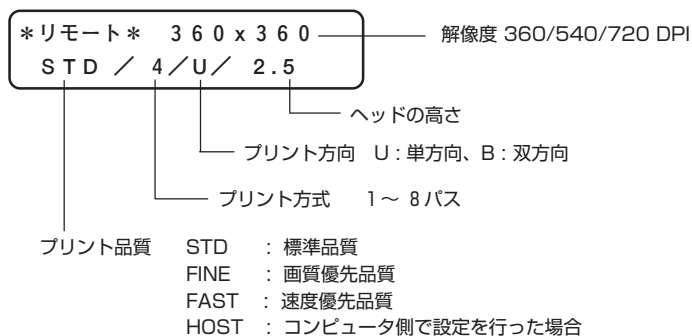
動作終了後、リモートモードになります。

- **読みとったメディアの厚みは、以下の操作を行うまで有効です。**
  - **電源をオフにする** **P.2-14**
  - **再度、【CYCLE START】キーを押す**
  - **ヘッド高さを変更する[ヘッドギャップ]** **P.4-15, 16**

画像データをプリントする

プリントする

コンピュータからデータを受信するためのモード切り換え、およびプリント中の表示について説明します。
なお、必要な各種機能の設定については、「4章 設定機能について」をご覧ください。

プリントを開始すると、ディスプレイに下記の情報を表示します。

操作手順

1.【REMOTE】キーを押します。
ローカルモードからリモートモードになります。
現在選択しているタイプ（プリント条件）を確認できます。 P.4-4

2. コンピュータからデータを送信します。
データのプリント条件を表示します。
データの送信方法については、出力ソフトウェアの取扱説明書をお読みください。

＊リモート＊　３６０ｘ３６０
ＳＴＤ ／ ４／Ｕ／ ２.５

プリントを開始します。

プリント終了後、テーブルが最前面に移動し、ローカルモードに戻ります。

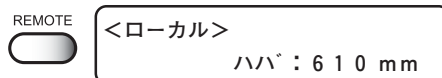
＜ローカル＞
ハバ゛：６１０ mm

プリントを中止する

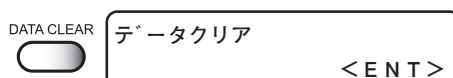
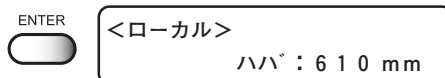
プリントを中止する場合、プリント動作を止めて、受信したデータを本装置から消去します。データを消去しないと、リモートモードにした際、中止したデータからプリントを開始してしまいます。

操作手順

1. 【REMOTE】キーを押します。
   プリント動作を中止します。

REMOTE

＜ローカル＞
ハバ゛：６１０ mm

2. コンピュータからデータを送信している場合、データ送信を止めます。

3. 【DATA CLEAR】キーを押します。

4. 【ENTER】キーを押します。
   受信したデータを消去し、ローカルモードに戻ります。

[ERROR71 ワークタカイ]を表示したら

★ **プリント中は常にセンサーでメディアの高さを監視しています。センサーがメディアを検出すると、プリントを中断します。この場合は、以下の手順でプリントを再開します。**

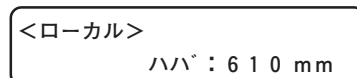
操作手順

1. 【END】キーを押します。
   ローカルモードに戻ります。

END

ERROR 71
ワーク　タカイ

＜ローカル＞
ハバ゛：６１０ mm

2. メディアのセット状態を確認します。
   浮いている部分があれば、セットし直します。

3. 【REMOTE】キーを押します。
   プリントを再開します。
   プリントを中止する場合は、データクリアを実行します。☞ 上記「プリントを中止する」

● **上記の操作を行ってもプリントを中断してしまう場合は、以下の操作を行ってください。**
- **・メディアの厚みを読み直す　【CYCLE START】キー** ☞ P.2-9
- **・ヘッドの高さを変更する　【Z】キー、ファンクションモード** ☞ P.4-15

[ﾆｱｴﾝﾄﾞ/ｲﾝｸｴﾝﾄﾞ]を表示したら

インクカートリッジ内のインクが少なくなると、メッセージを表示します。
プリントは続行できますが、プリント中にインクが無くなる場合があります。
速やかに新しいインクカートリッジに交換してください。

重 要！ ★ [ニアエンド] を表示したら、早めにインクを交換してください。
連続出力を行う場合は、インク残量を確認後、プリントを開始してください。
プリント中にインクが無くなると、動作を停止します。
途中でインクを交換すると、色が変わってしまう場合があります。

インク残量が少なくなった場合：ニアエンド

インク残量が少ない色を表示します。
右の表示は、ブラックインクの残量が少ないことを示しています。

```
<ローカル>
ニアエンド゛   K－－－－－－－
```

インク残量が全く無くなった場合：インクエンド

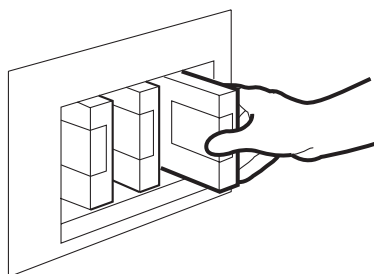
インクが無くなった色を表示します。
右の表示は、シアンインクが無くなったことを示しています。

```
<ローカル>
インクエンド゛ －－－－－C－－
```

交換手順

1. プリント中に、メッセージを表示します。
   - [ニアエンド] では、1データをプリントするごとにローカルモードになり、動作を停止します。プリントが終了したら、手順２に進みます。
   - [インクエンド]では、プリント動作は続行できません。

```
<ローカル>
ニアエンド゛   －－－－－－－Y
```

2. 新しいインクと交換します。
   表示した色のインクカートリッジを引き抜いて、新しいインクカートリッジをセットします。

3. 【REMOTE】キーを押します。
   リモートモードになり、連続してプリントできます。

```
＊リモート＊
タイプ゜1          2．5
```

インク残量を確認する

インク残量を表示し、各カートリッジに残っているインク量を確認できます。

確認手順

1. ローカルモードで、【ENTER】キーを押します。
   インク残量を数字で表示します。(下記参照)

2. 【ENTER】キーを押します。
   ローカルモードに戻ります。
   インクカートリッジに異常がある場合は、エラーの詳細を表示します。P.6-5, 6-6

インク残量表示について

インク残量を１から９までの数字で表示します。
１は[ニアエンド]（残量わずか）を、９は[フル]（満タン）を示します。

電源をオフにする

プリンターの使用が終了したら、前面にある電源スイッチを押して、電源をオフにします。
電源をオフにするときは、データを受信していないか、未出力のデータが残っていないかを確認してください。
また、ヘッドがキャッピングステーションにあることを確認してください。

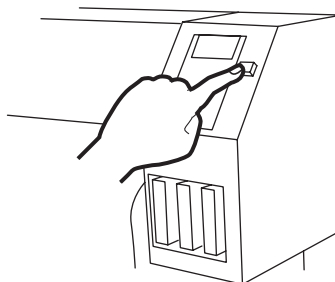
★ **フロントカバーを閉めたままにしてください。フロントカバーが開いていると、ノズル詰まり防止機能が動作しません。**

重要!

★ **キャッピングしていないまま電源をオフした場合は、再度電源をオンにしてください。ヘッドがキャッピングステーションに戻り、ヘッドの乾燥を防ぎます。**
プリント中に電源をオフにすると、ヘッドがキャッピングステーションに格納されない場合があります。キャッピングしていない状態で長時間放置するとノズル詰まりの原因になります。

操作手順

1. 前面にある電源スイッチを押します。
   操作パネルのPOWERランプが消灯します。

★ **背面の主電源スイッチはオフにしないでください。定期的に電源がオンになり、ノズル詰まり防止機能が動作します。主電源スイッチをオフにしたまま長時間放置すると、ノズルが詰まり、サービスマンによる修理が必要になります。**

３章
日常のお手入れ

日常のお手入れについて説明します。
本装置を良好に保つために、作業終了後はお手入れを行ってください。

本章の内容

日常のお手入れ

本装置の精度を保ちながら末永くお使いいただけるよう、使用頻度に応じて、または定期的にお手入れしてください。

お手入れ上のご注意

★ メンテナンス用洗浄液 RS を使用する場合、またはキャッピングステーションを清掃する場合は、必ず付属の保護メガネと手袋を着用してください。

★ 本装置の内部に水気が入らないようにしてください。内部が濡れると、感電および破損する原因になります。

★ ヘッドのノズル面やワイパ、キャップ等を水、アルコールなどで拭かないでください。ノズル詰まりや故障の原因になります。

★ ベンジン、シンナーや研磨剤の入った薬品は使用しないでください。
カバーの表面が変質・変形する恐れがあります。

★ 本装置の内部に潤滑油などを注油しないでください。プロッタ機構が故障する恐れがあります。

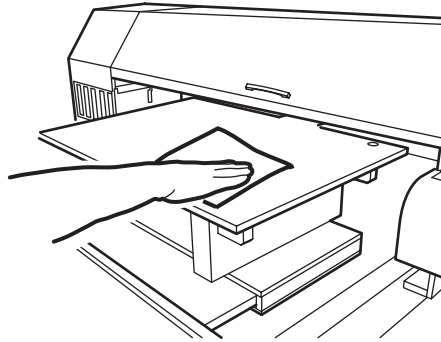
★ メンテナンス用洗浄液 RS やインクが、カバーに付着しないように注意してください。カバーの表面が変質、変形します。

★ お手入れ時は、ヒーター電源を切り、温度が十分下がった状態で作業してください。

● お手入れには付属の洗浄キットを使用します。
洗浄キットには、以下の物が入っています。

・メンテナンス用洗浄液 RS（SPC-0336）
・スポイト
・綿棒
・手袋

本体の外装が汚れた場合は

本体の外装 / テーブルが汚れた場合は、柔らかい布に水、または水で薄めた中性洗剤を含ませ、堅くしぼってから拭き取ってください。

ワイパとキャップのクリーニング

キャップは、ヘッドのノズルが乾燥することによる目詰まりを防ぎます。
ワイパは、ヘッドのノズルに付着したインクを拭き取ります。
本装置を使用していると、インクやホコリ等でワイパやキャップが汚れてきます。
画質や本装置の状態を良好に保つために、毎日の作業終了後、ワイパとキャップをクリーニングしてください。

★ **必ず付属のゴーグルと手袋を着用してください。インクが目に入る場合があります。**

★ **手でキャリッジをキャッピングステーションから出さないでください。**
キャリッジは、以下の手順で動かしてください。

操作手順

1. ローカルモードになっていることを確認します。

<ローカル>
ハハ゛：６１０ mm

2. 【FUNCTION】キーを押します。

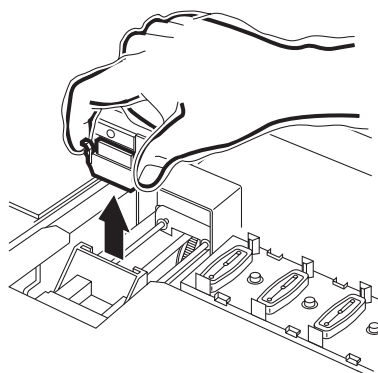
3. ジョグキー【▲】または【▼】を押して、
   [メンテナンス]を選択します。

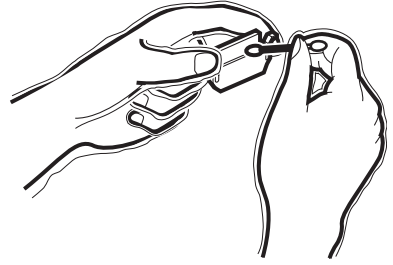
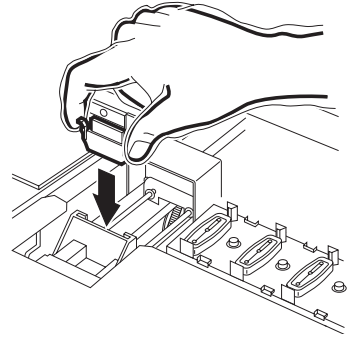
4. 【ENTER】キーを押します。
   [ステーション メンテ]を表示します。

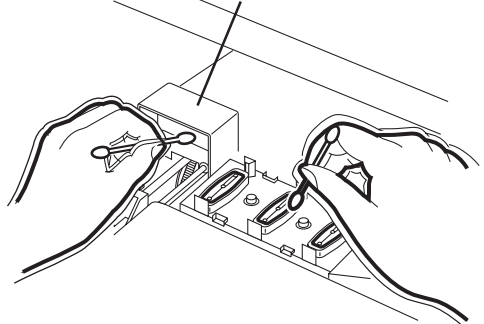
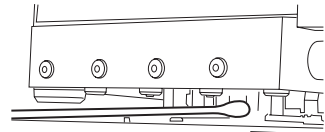
5. 【ENTER】キーを押します。
   [キャリッジ　アウト]を表示します。

6. 【ENTER】キーを押します。
   キャリッジがテーブル上に移動します。

7. フロントカバーを開けます。

8. ワイパの両端を持って、ワイパを引き抜きます。

9. ワイパとブラケットに付着したインクをメンテナンス用洗浄液 RS を含ませた綿棒で取り除きます。

● **汚れ、曲がりがひどい場合は、新しいワイパと交換します。**

10. 両端の突起を持って、ワイパを差し込みます。

11. キャップのゴムや、ワイパカバーに付着したインク等を綿棒で拭き取ります。

重 要！ ★ **綿棒の繊維が残らないように注意してください。繊維が残っていると、作図不良の原因になります。**

● **ヘッドの側面にもインクが付着していることがあります。インクを綿棒で拭き取ってください。**

12. フロントカバーを閉め、【ENTER】キーを押します。

初期動作を実行し、ローカルモードに戻ります。

ショキカ　チュウ
シバ゛ラク　オマチクダ゛サイ

<ローカル>

ノズルの洗浄[ノズルセンジョウ]

クリーニング機能（ P.2-6, 4-9)を実行してもノズル抜けが解消されない場合に、この機能を使用します。

重要!

- ★ **この洗浄を何回か実行してもノズル抜けが解消されない場合は、[インクジュウテン]、[ヘッドセンジョウ]機能（ P.5-17）を実行してください。それでも解消されない場合は、弊社営業所または販売店までご連絡ください。**
- ★ **[ニアエンド]、[インクエンド]を検出したカートリッジがあると、ノズル洗浄などのクリーニング（インク吸引）動作を行いません。[ニアエンド]未検出のカートリッジに交換してください。**

- ★ **必ず付属のゴーグルと手袋を着用してください。インクが皮膚に付着したり、目に入った場合は、ただちに水で十分に洗い流して下さい。**

操作手順

1. ローカルモードになっていることを確認します。

   ＜ローカル＞
   ハバ：610 mm

2. 【FUNCTION】キーを押します。

   FUNCTION
   セッテイ　＜ENT＞

3. ジョグキー【▲】または【▼】を押して、[メンテナンス]をを選択します。

   FUNCTION
   メンテナンス　＜ENT＞

4. 【ENTER】キーを押します。
   [ステーション　メンテ]を表示します。

   メンテナンス
   ステーションメンテ　＜ ent ＞

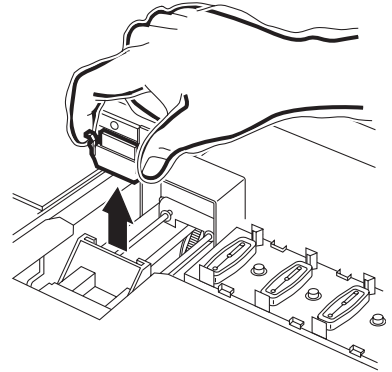
5. ジョグキー【▲】または【▼】を押して、[ノズルセンジョウ]を選択します。

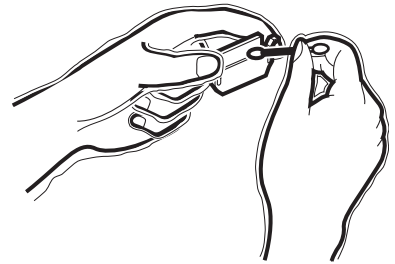
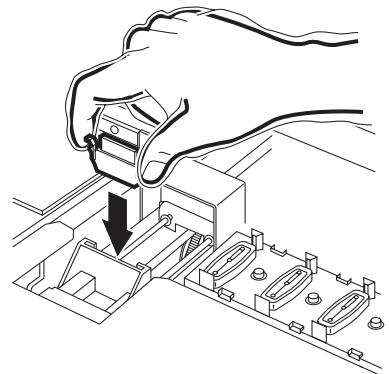
   ステーション　メンテ
   メンテ：ノズルセンジョウ

6. 【ENTER】キーを押します。
   キャリッジがテーブル上に移動します。

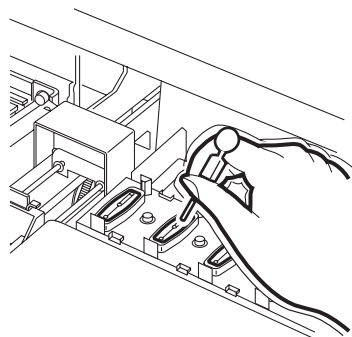
   ワイパ　クリーニング
   シュウリョウ　：ent

7. フロントカバーを開けます。

8. ワイパ両端の突起を持ってワイパを引き抜きます。

9. ワイパとブラケットに付着したインクを、メンテナンス洗浄液 RS を含ませた綿棒で取り除きます。

- **汚れ、曲がりがひどい場合は、新しいワイパと交換します。本操作を終了後、ワイパ交換手順に従って、ワイパを交換してください。**

10. 両端の突起を持って、クリーニングしたワイパを差し込みます。

11. 【ENTER】キーを押します。

```
センジョウエキ　ヲ　ミタス
シュウリョウ　　　　　：ent
```

12. スポイトでメンテナンス洗浄液 RS をとり、
キャップ一杯になるまで垂らします。

13. フロントカバーを閉めます。

14.【ENTER】キーを押します。

15.ジョグキー【▲】または【▼】を押して、
放置する時間を選びます。
（1 ～ 99 分：1 分単位）

通常は「1 分」で設定します。

16.【ENTER】キーを押します。

ENTER

洗浄液吸引、クリーニング動作のため、右の表示が設定した放置時間、続きます。

設定した放置時間が経過すると、ローカルモードに戻ります。

<ローカル>

廃インクが溜まったら

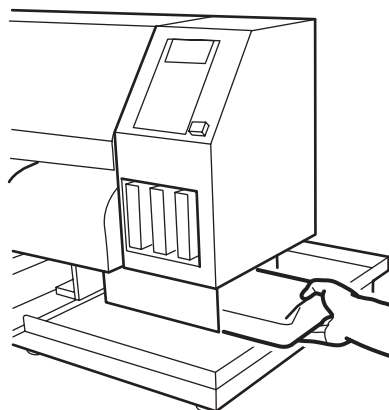
クリーニング機能などで使用したインクは、本装置右下にある廃インクタンクに溜まります。
廃インクタンク内のインク量が目視で半分を超えたら、速やかに廃インクを処理してください。

重 要！
★ 下に紙を敷いてから交換してください。インクで床が汚れる可能性があります。
★ インクを排出中の場合は、排出が終了してから作業してください。
★ 廃インクは、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。
★ 廃インクが身体に付着しないように、付属の保護メガネと手袋を着用してください。

操作手順

1. 廃インクタンクを手前に引き出します。
   廃インクを飛ばさないように、廃インクタンクの口をペーパータオルなどで押さえながら、ゆっくり引き出してください。

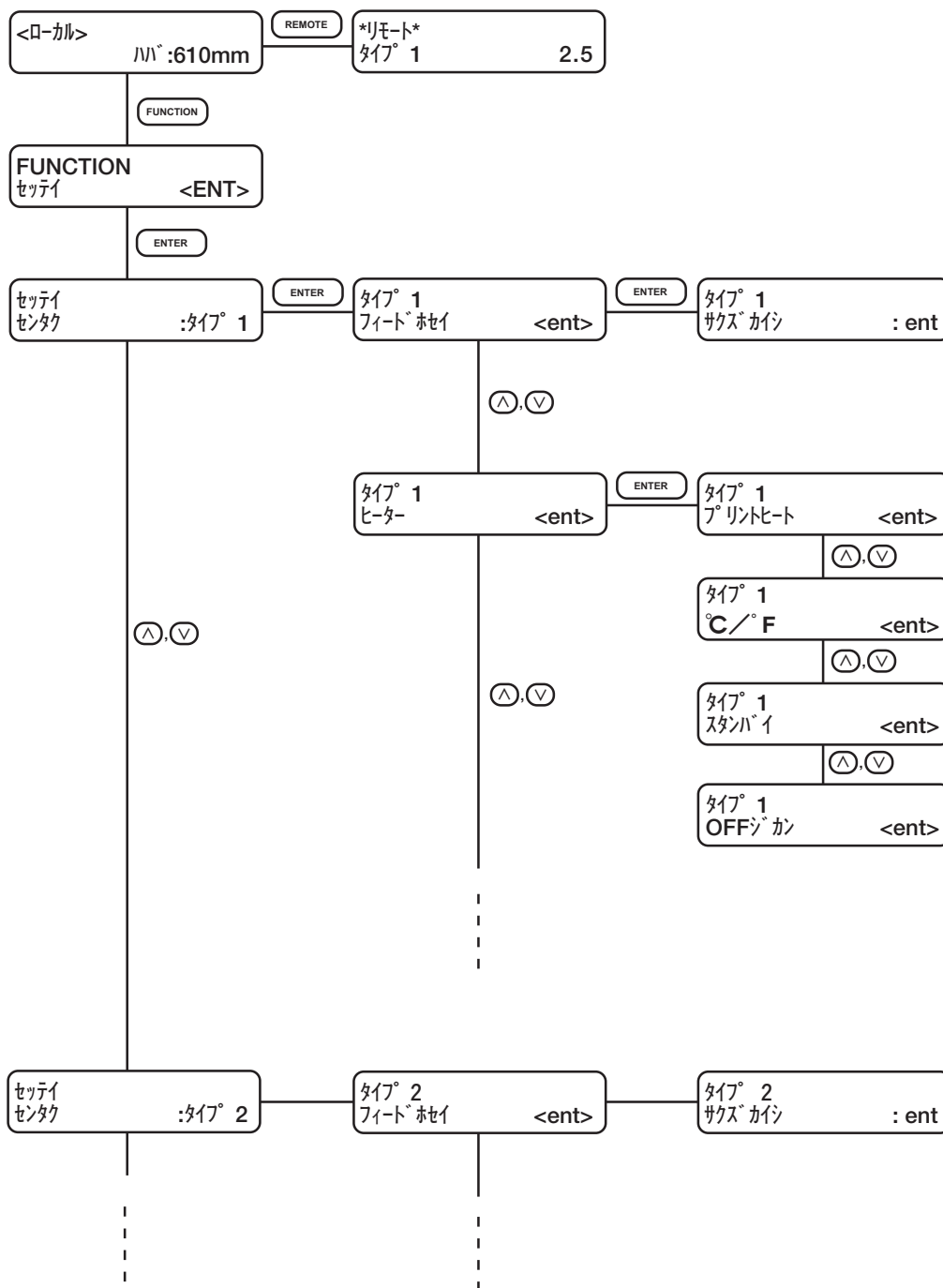
2. 廃インクを処分します。
   廃インクは市販のポリエチレンタンクなどに移します。

3. 空にした廃インクタンクを差し込みます。

4章
設定機能について

ファンクション機能や原点の設定について説明します。

本章の内容

メニューの基本操作

ここでは、各モードの切り替え、メニューの操作方法について説明します。
各メニューに入るキー操作は、下図のようになります。
詳細なメニュー構造は、付録をご覧ください。

① ローカルモードにします。

リモートモードにしても作図しないことを確認してから、【REMOTE】キーを押してローカルモードにします。

② ファンクションモードに入ります。

【FUNCTION】キーを押すと、ファンクションモードに入ります。

ファンクションモードは、設定機能とメンテナンス機能にわかれています。ここで設定機能かメンテナンス機能かを選択します。

③ タイプを選択します。

４種類のタイプに、それぞれファンクション機能を記憶させます。

用途によってファンクション機能を設定できます。

④ ファンクション機能を選択します。

ジョグキー【▲】または【▼】を押して、機能を選択します。

⑤ 選択したファンクション機能に入ります。

【ENTER】キーを押します。

⑥ パラメータを選択します。

ジョグキー【▲】または【▼】を押して、パラメータを選択します。

⑦ 設定を登録します。

【ENTER】キーを押します。

⑧ ローカルモードに戻ります。

【END】キーを数回押して、ローカルモードに戻ります。

作図条件をまとめてを登録する（タイプ登録）

ファンクションモードの設定機能は、用途にあわせてそれぞれ４タイプ（タイプ１～４）に登録できます。
それぞれのタイプに各種条件を登録しておくと、容易にプリント条件を変更できます。

タイプを登録する

操作手順

1. ローカルモードになっていることを確認します。
   リモートモード時は、【REMOTE】キーを押してローカルモードに戻します。

   ＜ローカル＞
   ﾊﾊﾞ：６１０ mm

2. 【FUNCTION】キーを押します。

   FUNCTION
   FUNCTION
   セッテイ　＜ENT＞

3. 【ENTER】キーを押します。

   ENTER
   セッテイ
   センタク　：タイプ゜ 1

4. ジョグキー【▲】または【▼】を押して、タイプ番号を選択します。

   セッテイ
   センタク　：タイプ゜ 2

5. 【ENTER】キーを押します。
   各条件を設定します。☞ P.4-5

   ENTER
   タイプ２
   フィードホセイ　＜ent＞

タイプを変更する

すでにタイプ１から４の各プリント条件を登録してある場合は、タイプを選択するだけで、プリントに合わせた設定を切り替えて使用できます。

1. 上記操作手順１から５を実行します。
   使用するタイプを選択します。

   セッテイ
   センタク　：タイプ゜ 3

2. 【END】キーを２回押します。
   ローカルモードに戻り、選択したタイプでプリントできます。

設定機能について

設定機能一覧

ファンクションモードの設定機能には 13 項目の機能があります。
各機能の概要について説明します。

機能名称	概　　要	☞
フィードホセイ	プリント時のメディアの送り量を補正する	P.4-6、付録 -8
ヒーター	ヒーターの状態を設定する	P.4-6、付録 -8
サクズホウシキ	プリント品質、プリント方向を設定する	P.4-6、付録 -8
カサネヌリ	インクの重ね塗りを行う	P.4-8、付録 -8
カンソウジカン	インクの乾燥時間を設定する	P.4-8、付録 -8
ユウセンジュンイ	優先する設定（パネル / ホスト）を決定する	P.4-8、付録 -8
リフレッシュ	プリント中に、インクヘッドのリフレッシュを行う	P.4-8、付録 -9
ミリ / インチ	表示単位を決定する	P.4-8、付録 -9
スタンプ	出力日時、出力条件を印刷する	P.4-9、付録 -9
オートクリーニング	プリントごとに、ヘッドを自動的にクリーニングする	P.4-9、付録 -9
ワークチェンジ	プリント後、ヘッドを自動的に上げる	P.4-9、付録 -9
LED ポインタ	プリント範囲設定方法（ポイント / エリア）を選択する	P.4-9、付録 -9
セッテイリセット	設定条件を初期化する	P.4-9、付録 -9

メディアの送り量を補正する[フィードホセイ]　☞ P.4-17

メディアの種類を変更した場合、またはヒーターの温度を変更した場合、メディアの送り量を補正します。
(-255 ～ 255)

ヒーターの状態を設定する[ヒーター]　☞ 付録 -8

テーブルに内蔵のヒーターについて設定します。

プリントヒート： ヒーターの温度を設定します。☞ P.2-5
（OFF, 20 ～ 60℃ / 68 ～ 140˚F）

℃／˚F： 温度の表示単位を切り替えます。
（℃, ˚F）

スタンバイ： プリント終了後、ヒーターが予熱温度に下がり始める時間を設定します。あらかじめ予熱温度は設定されているので変更はできません。温度が下がった状態でプリントを開始すると、自動的に設定温度まで上がります。
「ナシ」を設定すると、予熱温度になりません。
（ナシ , 10 ～ 90 min /10 min 単位）

OFF ジカン： 以下の場合にヒーターをオフにします。
- スタンバイ時、設定した時間を超過してもプリントしない場合
- スタンバイ -「ナシ」の設定時、プリント終了後に設定時間以上プリントしない場合

ヒーターがオフ状態でデータを受信すると、自動的に設定温度まで上がってからプリントを開始します。
「ナシ」を設定すると、ヒーターはオフになりません。
（ナシ , 30, 60, 90 min.）

プリント品質 / 方向を設定する[サクズホウシキ]　☞ 付録 -8

プリントの品質、プリント方向、およびロジカルシークについて設定します。

サクズヒンシツ： 3 種類の中から選択します。
（ヒョウジュン , キレイ , ハヤイ ）

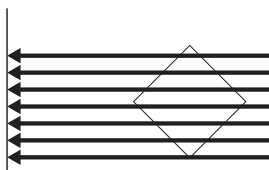
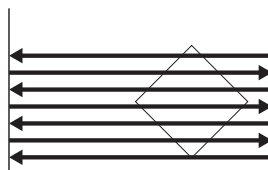
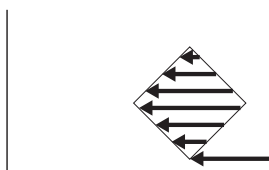
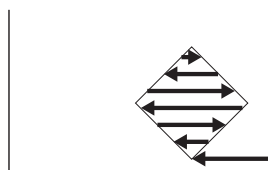
ホウコウ： ヘッドが動く際に、左右どちらに移動したときにプリントするか設定します。
「タンホウコウ」：ヘッドが左へ移動しながらプリントします。
「ソウホウコウ」：ヘッドが左右に移動しながらプリントします。
＊「タンホウコウ」より高速にプリントしますが、画質は多少低下します。
（タンホウコウ , ソウホウコウ）

ロジカルシーク： メディア幅いっぱいにヘッドが移動してプリントするか、画像幅に合わせてヘッドが移動してプリントするかを設定します。

「ON」： プリント画像の幅のみスキャンします。プリント時間が短縮できます。

「OFF」：プリント画像の大きさにかかわらず、常にメディア幅をスキャンします。

（ON, OFF）

OFF（単方向作図）

OFF（双方向作図）

ON（単方向作図）

ON（双方向作図）

重要!

★ ロジカルシークの「ON」と「OFF」では、発色の違いが見られる場合があります。ロジカルシークが「ON」の場合、スキャン幅が異なるためインク乾燥の仕方に違いが出ることに起因しています。ロジカルシークの「ON / OFF」を確認してからプリントしてください。

重ね塗りする[カサネヌリ] ☞ 付録 -8

インクの発色が悪い場合、重ね書きする回数を設定します。
(1 ～ 9 回)

インクの乾燥時間を設定する[カンソウジカン] ☞ 付録 -8

インクの乾燥時間を設定します。
スキャンごと(1 回のヘッド移動)の待ち時間を設定します。
乾燥時間は、プリントの印字密度およびメディアの種類により設定します。

スキャン： 往路または復路による 1 回のヘッド移動で、一時停止する時間を設定します。
(0.0 ～ 9.9 sec.)

重 要! ★ 3 秒以上の時間を指定すると、インク詰まりの保護機能が働き、ヘッドがキャッピングステーションに戻り、いったんキャッピングします。

設定の優先を決める[ユウセンジュンイ] ☞ 付録 -8

下記の 5 機能を本装置(パネル)で設定した値を優先にするか、コンピュータ(ホスト)で設定した値を有効にするか設定します。
(ホスト、パネル)

- **フィードホセイ**
- **ヒーター**
- **サクズホウシキ**
- **カサネヌリ**
- **カンソウジカン**

インク詰まりを防ぐ[リフレッシュ] ☞ 付録 -8

プリント中にインクヘッドのリフレッシュを行い、ヘッドのインク詰まりを防ぎます。
ホコリが多い場所や、湿度の低い場所で本機能を使用します。
レベル数が大きいほど、リフレッシュ回数が多くなります。
(レベル 0 ～ 3)

表示単位を設定する[ミリ／インチ] ☞ 付録 -9

表示する単位を設定します。出荷時は[ミリ]に設定してあります。
(ミリ、インチ)

出力条件を印刷する[スタンプ]

☞ 付録 -9

プリント終了後に、出力条件、出力日時を印刷します。

モードスタンプ： 出力条件を印刷します。
（ON, OFF）

タイムスタンプ： 出力日時を印刷します。
（ON, OFF）

自動的にクリーニングする[オートクリーニング]

☞ 付録 -9

自動的にヘッドをクリーニングします。
プリントごとにクリーニングを実行して、画質不良を防止します。
（ON, OFF）

プリント後、ヘッドを自動的に上げる[ワークチェンジ]

☞ 付録 -9

容易にワークを交換できるよう、プリント終了後、ヘッドを自動的に上げます。
（ON, OFF）

プリント範囲指定方法を決める[LED ポインタ]

☞ 付録 -9

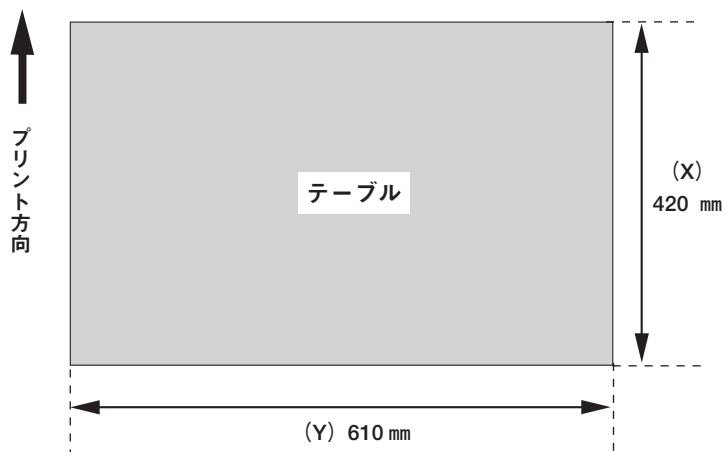
プリント範囲指定において、ポイント指定（プリント基準点指定）を行うか、エリア指定（プリント範囲指定）を行うかを選択します。☞ P.4-10
（ポイント , エリア）

設定条件を初期化する[セッテイリセット]

☞ 付録 -9

設定条件を、工場出荷時の設定値に戻します。タイプごとにリセットします。

プリント範囲を指定する

本装置は、テーブル面の黒枠内にプリントできます。

最大プリント範囲 = 420㎜ (X) x 610 ㎜ (Y)

★以下の条件で作図した場合は 420 ㎜ (X) x 570 ㎜ (Y)

・360x360dpi, 高速モード作図
・360x540dpi, 高速モード作図
・360x720dpi, 高速モード作図

重要！ ★ テスト印刷時以外は、原点（プリント開始位置）を変更しないでください。
本装置で原点を変更すると、RasterLinkGP（出力ソフトウェア）の原点と誤差が生じます。
原点を変更する場合は、必ず RasterLinkGP 側で変更してください。

プリント範囲を指定する

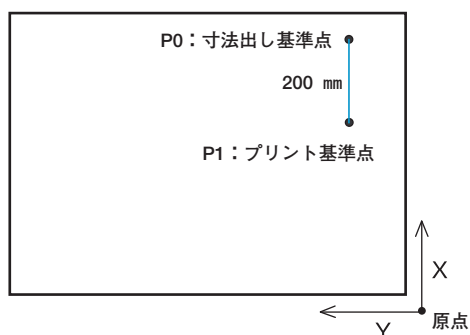
本装置は、２通りの方法でプリント範囲を指定できます。
ファンクション機能[LED ポインタ]で２通り（ポイント / エリア）の切替えが可能です。

☞ P.4-9

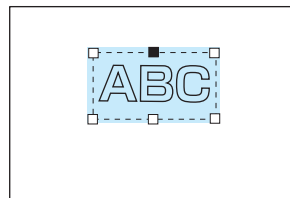
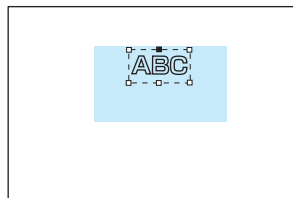
指定したプリント範囲は、RasterLinkGP（出力ソフトウェア）で読み取り、出力データを作成します。詳しくは、RasterLinkGP 取扱説明書をご覧ください。

1. ポイント（プリント基準点）指定

任意の点(P1)を指定し、プリント基準点とします。

1. プリント基準点(P1)の寸法を出すための基準点(P0)を指定します。
2. 任意の１点(P1)を指定します。この点を基準に出力データを作成します。

例）P0 から 200mm 下にプリントする場合

1. P0を (X, Y) に設定します。
2. P0から(X-200,Y) の場所に、P1を決定します。
3. RasterLinkGPで読み込みます。

RasterLinkGPで設定すると、文字数が異なる場合でも
任意の位置に合わせてプリントができます。

例）P1に中心合わせでプリントした場合

ABC

C

2. エリア（プリント範囲）指定

任意の２点(P1/P2)を指定し、プリント範囲とします。

1. 寸法出しの基準点(P0)を指定します。
2. 任意の２点(P1/P2)を指定します。
   ２点を対角とする矩形がプリント範囲になります。

操作手順

1. ローカルモードになっていることを確認します。
   リモートモード時は、【REMOTE】キーを押してローカルモードに戻します。

```
<ローカル>
          ハバ゛：610 mm
```

2. 【LED POINTER】キーを押します。
   設定してある P0 点にヘッドが移動します。

3. ジョグキーを押して、P0 点(寸法出しの基準点)を設定する位置に LED ポインタを移動します。

原点からの相対座標表示

● **LED ポインタの点灯している点が、表示座標になります。**

4. 【ENTER】キーを押し、P0 点を決定します。
   設定してある P1 点にヘッドが移動します。

```
LEDポインタ ：   P1
100．0    100.0
```

P0点からの相対座標表示

5. ジョグキーを押して、設定する P1 点に LED ポインタを移動させます。

6. 【ENTER】キーを押します。
   P1 点を決定します。

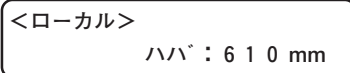
   ● ポイント指定（プリント基準点指定）の場合は、ローカルモードに戻ります。

   ● エリア指定（プリント範囲指定）の場合は、設定してある P2 点にヘッドが移動します。

7. ジョグキーを押し、設定するP2点にヘッドを移動させます。

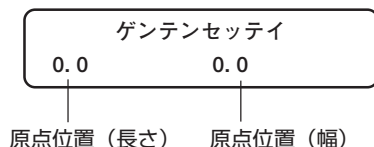
```
LEDポインタ ：  P2
300．0    300.0
```

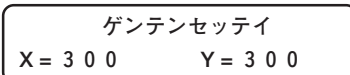
P1点からの相対座標表示

8. 【ENTER】キーを押します。
   P2 点を決定します。

原点を設定する

任意の場所でノズル確認などのテストパターンを印刷する場合は、原点（データのプリント開始位置）を再設定します。
テスト印刷以外のプリントは、RasterLinkGP（出力ソフトウェア）で原点を設定します。

操作手順

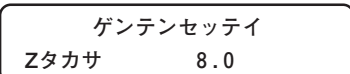
1. ローカルモードになっていることを確認します。
   リモートモード時は、【REMOTE】キーを押してローカルモードに戻します。

＜ローカル＞
ハバ゛：６１０ mm

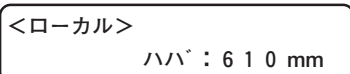
2. ジョグキーを押して、原点を設定する位置までキャリッジを動かします。

● **LED ポインタの点灯している点が、表示座標になります。**

2. 原点を決定したら、【ENTER】キーを押します。
   有効作図範囲を表示後、ローカルモードになります。

   次回作図を開始する場合は、この設定位置を原点とします。

キャリッジの移動開始時、および移動中にセンサーがメディアを検出したら

重 要！ ★ **キャリッジの移動開始時、および移動中にセンサーがメディアを検出した場合、移動を停止し、エラーメッセージを表示します。**
この場合は、以下の操作を行ってください。

操作手順

1. Ｚキー【▲】を押します。
   ヘッド が上がります。

2. ジョグキーを押して、原点を設定する位置までキャリッジを動かします。

ゲンテンセッテイ
Ｚタカサ　8.0

3. 原点を決定したら、【ENTER】キーを押します。

ENTER
＜ローカル＞
ハバ゛：６１０ mm

ヘッドの高さを変更する[ﾍｯﾄﾞｷﾞｬｯﾌﾟ]

シワや毛羽立ちのあるメディアを使用する場合は、ヘッドの高さ（ヘッドギャップ）を調整します。
【CYCLE START】キーでメディアの厚みを読み込むだけでは、シワや毛羽立ち部分にヘッドがこする可能性があります。
本装置は２通りの方法でヘッドギャップを変更できます。（出荷時設定 2.5 mm）

★ **ヘッドギャップを高く設定すると、吐出したインクが正確に着弾できません。吐出したインクがミスト化するため、画質が落ちたり、ヘッドが汚れやすくなります。さらに、ヘッドギャップを高く設定して高速印刷を行うと、ミスト化しやすくなります。ヘッドギャップを高くする場合は、RIP の「高速」設定は選択しないでください。**

● **この操作を行うと、【CYCLE START】キーで読みとったメディアの厚みはクリアされます。****P.2-9**

1. Z キーを押してヘッド高さを変更する

操作手順

1. ローカルモードになっていることを確認します。
   リモートモード時は、【REMOTE】キーを押してローカルモードに戻します。

<ローカル>
ハバ゛：610 mm

2. Z キー【▲】または【▼】を押し、ヘッドの高さを上下に調整します。

● **指定できるヘッドの高さは、1.0 ～ 8.0 mm の範囲です。**

3. 高さを決定したら、【ENTER】キーを押します。

   ローカルモードになります。

<ローカル>
ハバ゛：610 mm

4

設定機能について

2. ファンクションモードからヘッド高さを変更する

操作手順

1. ローカルモードになっていることを確認します。
   リモートモード時は、【REMOTE】キーを押してローカルモードに戻します。

<ローカル>
ハバ゛：６１０ mm

2. 【FUNCTION】キーを押します。

FUNCTION

FUNCTION
セッテイ <ENT>

3. ジョグキー【▲】または【▼】を押して、[ヘッドギャップ]を選択します。

FUNCTION
ヘッドギャップ <ENT>

4. 【ENTER】キーを押します。

ENTER

FUNCTION
ヘッドギャップ　：2.5 mm

5. ジョグキー【▲】または【▼】を押して、ヘッドの高さを変更します。
   1.0～8.0（0.1mm 単位）

FUNCTION
ヘッドギャップ　：2.0 mm

6. 【ENTER】キーを押します。
   ジョグモードになります。

ENTER

7. ジョグキーを押して、テーブル上のヘッドギャップを設定する位置へキャリッジを移動します。

ヘッドギャップ
＊＊.＊　　＊＊＊

8. 【ENTER】キーを押します。
   メディアの高さを測定し、手順４で指定した高さへヘッドが移動します。

ENTER

ヘッドギャップ　＝2.0 mm

ヘッドギャップ更新後、ローカルモードになります。

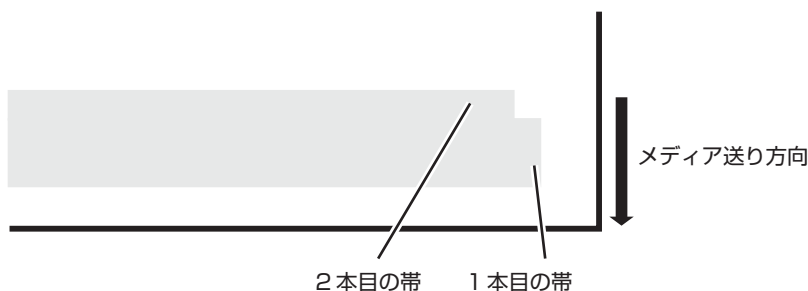
<ローカル>
ハバ゛：６１０ mm

メディアの送り量を補正する[ﾌｨｰﾄﾞ ﾎｾｲ]

メディアの種類を交換したり、ヒーターの温度を変更した場合、またはヘッドギャップを変更した場合はメディアの送り量が変化します。必ずメディアの送り量を補正してください。補正値が適切でないと、画像に縞などが入るなど、綺麗にプリントできない場合があります。

重 要！
- ★ **ヒーターの温度を変更した場合は、CONSTANT ランプが点灯し、設定した温度に達していることを確認してから補正してください。**
- ★ **補正パターンは、有効エリアの全幅（Y 方向）に作図します。メディアをセットしていない部分が汚れないように注意してください。**

補正パターン

２本の帯を作図します。
２本の帯の境が均等の濃さになるように調整してください。

操作手順

1. ローカルモードになっていることを確認します。
   リモートモード時は、【REMOTE】キーを押してローカルモードに戻します。

   <ローカル>
   ﾊﾊﾞ：６１０ mm

2. 【FUNCTION】キーを押します。

   FUNCTION
   FUNCTION
   セッテイ < ENT >

3. 【ENTER】キーを押します。

   ENTER
   セッテイ
   センタク ：タイプ　1

4. ジョグキー【▲】または【▼】を押して、タイプを選びます。☞ P.4-4

   セッテイ
   センタク ：タイプ　3

4
設定機能について

5.【ENTER】キーを押します。

6.【ENTER】キーを押します。
補正パターンを出力します。

サクズ゛ チュウ
シバ゛ラク オマチクダ゛サイ

7. 出力パターンの状態を確認します。

ジョグキー【▲】または【▼】を押して、
補正値を入力します。(-255～255)

8.【ENTER】キーを押します。
補正値を登録します。
正常なパターンを作図するまで、手順6～8を繰り返します。

9.【END】キーを3回押すと、ローカルモードに戻ります。

ディスプレイの表示言語を変更する

ディスプレイに表示する言語は、7カ国語（日本語 / 英語 / ポルトガル語 / イタリア語 / スペイン語 / フランス語 / ドイツ語）を選択できます。
プリンターの初期値は[Japanese]です。表示言語を英語にしてみましょう。

操作手順

1. ローカルモードで、【FUNCTION】キーを押します。

FUNCTION
セッテイ < ENT >

2. ジョグキー【▼】を押して、[DISPLAY]を選択します。

FUNCTION
DISPLAY < ENT >

3. 【ENTER】キーを押します。

DISPLAY
Japanese < ent >

4. ジョグキー【◀】または【▶】を押して、表示する言語を選びます。

5. 【ENTER】キーを押します。
ローカルモードに戻ります。

5章
メンテナンス機能

本装置を適正に使えるよう、メンテナンスを行いましょう。
本装置の維持、または使用を一定期間停止する場合もメンテナンスを行ってください。

本章の内容

メンテナンスについて

メンテナンスは、本装置を適正にお使いいただくためのお手入れに関する操作をいいます。
メンテナンスは、ファンクションメニューの[メンテナンス]を選択し、各詳細を設定してから実行します。

メンテナンス機能の導入

メンテナンス機能を実行する場合、操作パネル上で以下の操作が必要です。
メンテナンス機能への導入操作を覚え、各メンテナンスを実行します。

操作手順

1. ローカルモードになっていることを確認します。
   リモートモード時は、【REMOTE】キーを押してローカルモードに戻します。

   <ローカル>
   ハバ゛：６１０ mm

2. 【FUNCTION】キーを押します。

   FUNCTION

   ＦＵＮＣＴＩＯＮ
   セッテイ　　　　<ＥＮＴ>

3. ジョグキー【▲】または【▼】を押して、[メンテナンス]を選びます。

   ＦＵＮＣＴＩＯＮ
   メンテナンス　　<ＥＮＴ>

4. 【ENTER】キーを押します。

5. 次の操作を選択します。
   各メンテナンス機能を設定して、メンテナンスを実行します。P.5-3

設定機能一覧

各機能の概要について説明します。

機能名称	概　　要	☞
ステーションメンテ	ステーション内部の清掃、ワイパ交換などを行う (ｷｬﾘｯｼﾞｱｳﾄ、ﾜｲﾊﾟｺｳｶﾝ、ﾉｽﾞﾙｾﾝｼﾞｮｳ、ﾊｲﾛｾﾝｼﾞｮｳ、ﾎｶﾝｾﾝｼﾞｮｳ)	P.5-4
ドットイチホセイ	ヘッド高さやインク種別を変更した場合など、ドット位置を補正する	P.5-12
テイキ　ワイピング	ノズル面のインク結露を防止する	P.5-14
スリープ CLEAN	ノズル詰まりを防止するために、フラッシング動作と ヘッドクリーニングを行う	P.5-16
インクジュウテン	「ヘッドクリーニング」、「ノズルセンジョウ」しても ノズル詰まりが復旧しない場合に行う機能	P.5-17
ヘッドセンジョウ	「ヘッドクリーニング」、「ノズルセンジョウ」しても ノズル詰まりが復旧しない場合に行う機能	P.5-17
リスト	本装置の設定状態を作図する	P.5-19
データダンプ	コンピュータから送信されるデータを HEX コードで作図する	P.5-20
ワイパレベル	使用環境により、ワイパ交換時期の警告を早めに促す	P.5-21
ジコクセッテイ	本体内蔵カレンダーの日付、時刻を設定する	P.5-22
マシンジョウホウ	本装置のファームウェアバージョン、シリアル番号、ディーラー番号 を表示する	P.5-23

ステーション内の清掃[ｽﾃｰｼｮﾝﾒﾝﾃ]-[ｷｬﾘｯｼﾞｱｳﾄ]

ステーション内部の清掃や、消耗品の交換などを行う際にキャリッジを移動します。

注意　★ **キャリッジは、手でキャッピングステーションから出さないでください。キャリッジはジョグキーを使用して動かします。**

[ステーションメンテ]には、以下の項目があります。

キャリッジアウト　：　ステーション内部の掃除のためにキャリッジを移動します。
ワイパコウカン　：　ワイパ交換の表示が出たら、ワイパを交換します。 **P.5-5**
ノズルセンジョウ　：　洗浄キットでノズルをクリーニングします。 **P.3-6**
ハイロセンジョウ　：　インクの排出路をクリーニングします。 **P.5-7**
ホカンセンジョウ　：　ヘッドのノズルとインクの排路をクリーニングします。 **P.5-9**

操作手順

1. [ステーションメンテ]を選択します。
P.5-2

メンテナンス
ステーション　メンテ　　< ent >

2. 【ENTER】キーを押します。
[キャリッジアウト]を表示します。

ENTER

ステーション　メンテ
メンテ　　　　：キャリッジアウト

3. 【ENTER】キーを押します。
キャリッジがテーブル上に移動します。

4. フロントカバーを開けて、以下のメンテナンスを行います。P.3-4

● **インクキャップのクリーニング**
キャップのゴムに付着したインク等を、綿棒で拭き取ります。

● **ワイパのクリーニング**
ワイパを取り出し、付着したインクを綿棒で取り除きます。

● **ワイパカバーのクリーニング**
ワイパカバーに付着したインクを、綿棒で取り除きます。

ワイパ交換のメッセージを表示したら[ステーションメンテ]-[ワイパ゜コウカン]

ワイパは消耗品です。以下のメッセージを表示したら、速やかにワイパを交換してください。

<ローカル>
　ワイパコウカンシテクダサイ

同時に、スライダー下面に付着したインクをクリーニングします。

● **クリーニングワイパは別売品です。お近くの販売店、または弊社営業所でお求めください。**

★ **新しいワイパを交換する時以外は、[ワイパコウカン]を選択しないでください。本装置内部で管理しているワイパ使用回数がリセットしてしまいます。**

操作手順

1. [ステーションメンテ]を選択します。
   P.5-2

   メンテナンス
   ステーション　メンテ　　< ent >

2. 【ENTER】キーを押します。

   ステーション　メンテ
   メンテ　　　：キャリッジアウト

3. ジョグキー【▲】または【▼】を押して、[ワイパコウカン]を選択します。

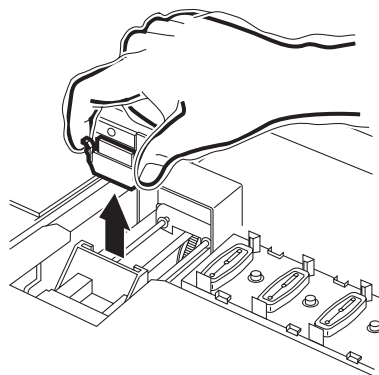
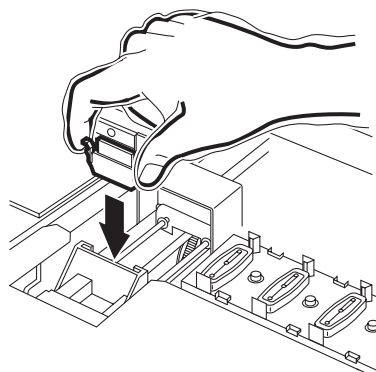
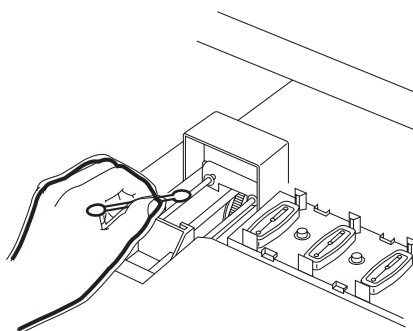
4. 【ENTER】キーを押します。
   キャリッジがテーブル上に移動します。

5. フロントカバーを開けます。

6. 両端の突起を持ってワイパを引き抜きます。

● **手袋をすると、手が汚れません。**

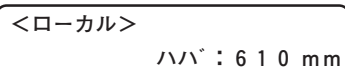
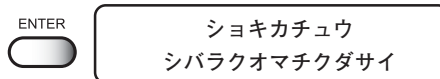
5

メンテナンス機能

7.　両端の突起を持って新しいワイパを差し込みます。

8.　ワイパのガイド軸を綿棒、または布等でクリーニングします。

9.　フロントカバーを締めます。

10.【ENTER】キーを押します。

ローカルモードに戻ります。

ショキカチュウ シバラクオマチクダサイ

＜ローカル＞ ハバ゛：６１０ ｍｍ

インク排出路を洗浄する[ｽﾃｰｼｮﾝﾒﾝﾃ]-[ﾊｲﾛ ｾﾝｼﾞｮｳ]

インクの排出路内において、インクの凝固によるインク詰まりが発生する場合があります。
このインク詰まりを防止するために、定期的に排出路内を洗浄してください。

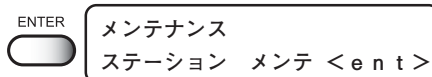
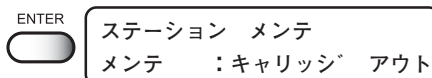
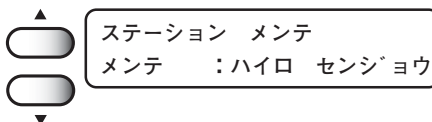
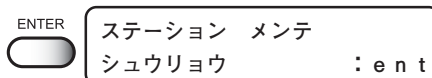
★ **必ず付属のゴーグルと手袋を着用してください。インクが目に入る可能性があります。**

★ **キャリッジを手でキャッピングステーションから出さないでください。キャリッジは、[ステーションメンテ]機能を選択して動かします。**

用意するもの：

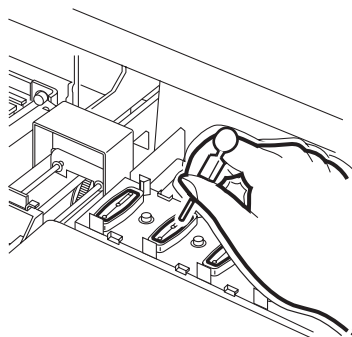
- **メンテナンス用洗浄液 RS（SPC-0336）**
- **スポイト**
- **手袋、ゴーグル**

操作手順

1. [ステーションメンテ]を選択します。
   P.5-2

2. 【ENTER】キーを押します。
   [キャリッジ　アウト]を表示します。

3. ジョグキー【▲】または【▼】を押して、
   [ハイロ センジョウ]を選択します。

4. 【ENTER】キーを押します。
   キャリッジがテーブル上に移動します。

   空吸引動作が始まります。吸引動作を５秒、停止時間が１０秒をそれぞれ交互に動作し続けます。

5　フロントカバーを開けます。

6. スポイトでメンテナンス洗浄液 RS をとります。空吸引が停止している間に、キャップからあふれる寸前までメンテナンス洗浄液 RS を垂らします。

すべてのキャップに対して同様にメンテナンス洗浄液 RS を垂らします。

7. フロントカバーを閉めます。

8.【ENTER】キーを押します。
30 秒間の空吸引後、ローカルモードになります。

ショキカ　チュウ
シバ゛ラク　オマチクダ゛サイ

<ローカル>
ハバ゛：６１０ mm

長期間使用しない場合[ｽﾃｰｼｮﾝﾒﾝﾃ]-[ﾎｶﾝ ｾﾝｼﾞｮｳ]

１週間以上使用しない場合は、保管洗浄機能を使用し、ヘッドのノズルとインクの排路をクリーニングしてください。
その後、本装置を保管してください。

★ 必ず付属のゴーグルと手袋を着用してください。

用意するもの

・メンテナンス用洗浄液 RS（SPC-0336)、スポイト
・手袋、ゴーグル

操作手順

1. ［ステーションメンテ」を選択します。
   P.5-2

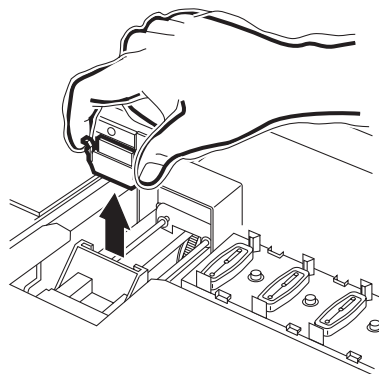
2. 【ENTER】キーを押します。

ENTER

3. ジョグキー【▲】または【▼】を押して、[ホカン センジョウ]を選択します。

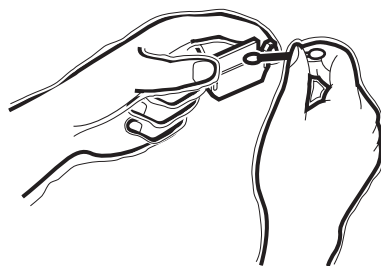
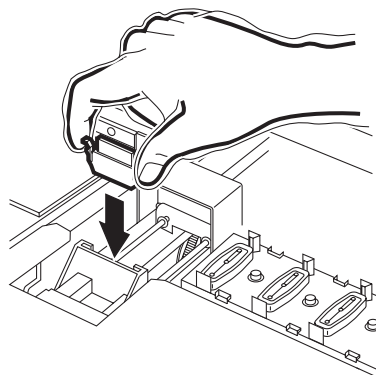
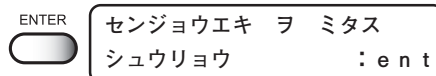
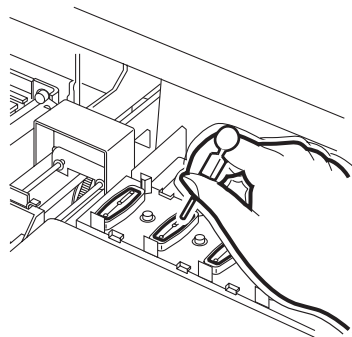
4. 【ENTER】キーを押します。
   キャリッジがテーブル上に移動します。

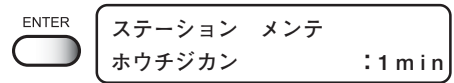
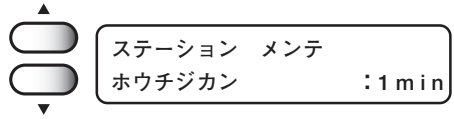
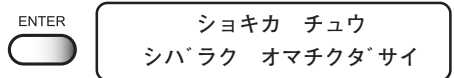
5. フロントカバーを開けます。

6. ワイパ両端の突起を持ってワイパを引き抜きます。

5

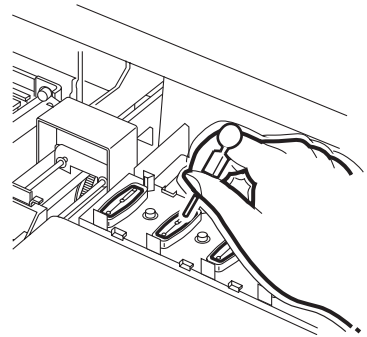
メンテナンス機能

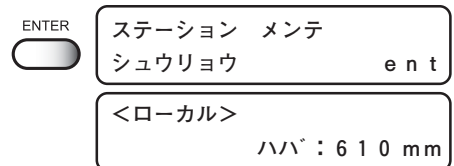
7. ワイパとブラケットに付着したインクを、メンテナンス洗浄液 RS を含ませた綿棒で取り除きます。

● **汚れ、曲がりがひどい場合は、新しいワイパと交換します。本操作を終了後、ワイパ交換手順に従って、ワイパを交換してください。**

8. 両端の突起を持って、クリーニングしたワイパを差し込みます。

9. 【ENTER】キーを押します。

10. スポイトでメンテナンス洗浄液 RS をとり、キャップ一杯になるまで垂らします。
すべてのキャップに対して行います。

11. フロントカバーを閉めます。

12.【ENTER】キーを押します。

13. ジョグキー【▲】または【▼】を押して、
放置する時間を選択します。
（1 ～ 99 分：1 分単位）
通常は「1 分」に設定します。

14.【ENTER】キーを押します。
ノズルの洗浄を実行します。

ノズルの洗浄が終了すると、ヘッドがプラテン上に移動します。

15. フロントカバーを開けます。

16. スポイトでメンテナンス洗浄液 RS をとり、
キャップ一杯になるまで垂らします。
空吸引動作は断続的に行っているため、数回この作業を繰り返し、インクの排路をクリーニングします。
すべてのキャップに対して行います。

17. フロントカバーを閉めます。

18.【ENTER】キーを押します。
ヘッドがステーションに戻り、ローカルモードになります。

双方向作図時の調整について[ﾄﾞｯﾄｲﾁﾎｾｲ]

双方向作図は、ヘッドが左右に移動しながら高速で作図します。☞ P.4-6
ここでは、往路と復路のインク落下点の位置を補正します。
７種類のテストパターンをプリントし、「往路」と「復路」のインク落下点を比較して補正します。

操作手順

1. [ドットイチホセイ]を選択します。
☞ P.5-2

メンテナンス
ドットイチホセイ　＜ ent ＞

2. 【ENTER】キーを押します。
７種類のテストパターンを印刷します。
出力した７パターンは、印刷した順にパターン１から７と呼びます。

ENTER

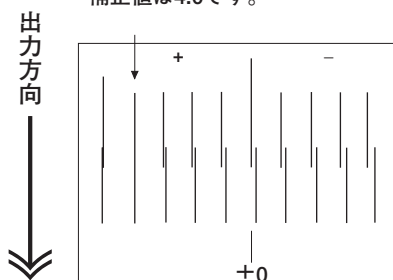
メンテナンス
サクズカイシ　：ent

サクズ チュウ
シバ゛ラク　オマチクダ゛サイ

3. ジョグキー【▲】または【▼】を押して、パターン１のドット位置補正の値を入力します。

メンテナンス
パターン１　＝４．０

パターン１の適正なドット位置をジョグキーで選択します。
テストパターンの往路と復路が、１本の直線になっている位置を選択します。

0からプラス方向に4本目が直線で表示しています。この場合の補正値は4.0です。

(中央の長い線の位置が0を示します)

重 要！　★ 直線のパターンの補正値が -40 ～ +40 の中にない場合は、ヘッドの高さを調整してから、再度ドット位置補正を実行してください。

4. 補正値入力後、【ENTER】キーを押します。

5. 手順３の操作を再実行し、続けてパターン２から７のドット位置を補正します。

各パターンの適正ドット位置を選択します。
パターン７までドット位置補正値を入力し、ドット位置補正を終了します。

6. 【END】キーを２回押します。
ローカルモードに戻ります。

5

メンテナンス機能

ノズル面でインクが結露するのを防ぐ[ﾃｲｷ ﾜｲﾋﾟﾝｸﾞ]

プリントヒーターを高温に設定したとき、または 打ち込みインク量を多めに設定にしたとき（高濃度、2度塗り等）に、作図途中で しぶき、ぼた落ち、またはノズル抜けが発生する場合があります。
これは、作図直後のインクがプリントヒーターで加熱され、揮発した溶剤成分がノズル面に結露してしまうことが原因です。
またプリントヒーターの設定温度と外気温度との差が大きいほど結露しやすくなります。
この機能は作図中、一定間隔でノズル面をワイピングし 結露を取り除きます。

操作手順

1. [テイキワイピング]を選択します。
☞ P.5-2

メンテナンス
テイキ　ワイピング　　＜ｅｎｔ＞

2. 【ENTER】キーを押します。

3. 【ENTER】キーを押します。

4. ジョグキー【▲】または【▼】を押して、スキャン回数を入力します。
(0～200回)

● **スキャン回数の初期値は0（実行しない）です。使用状況に応じて設定値を変更してください。**
ヒーターを高温（50℃以上）に設定した場合や、2度塗り等打ち込みインク量が多い場合は、30～50回が目安です。

5. 【ENTER】キーを押します。

ENTER

テイキ　ワイピング
スキャン　カイスウ　　＜ｅｎｔ＞

6. ジョグキー【▲】または【▼】を押して、[オンド　サ]を選択します。

7.【ENTER】キーを押します。

ENTER

テイキ　ワイピング
オンド　サ　　　　＝　２０゜Ｃ

8. ジョグキー【▲】または【▼】を押して、
温度差を入力します。

● **プリントヒーターの温度設定が外気温度よりも高く、その差が設定した温度差以上になった場合に、定期ワイピング機能が有効になります。**

9.【ENTER】キーを押します。

ENTER

テイキ　ワイピング
オンド　サ　　　＜ｅｎｔ＞

10.【END】キーを３回押します。
ローカルモードに戻ります。

電源オフ時のノズル詰まり防止動作を設定する [ｽﾘｰﾌﾟCLEAN]

電源スイッチをオフにしても定期的にインク詰まりを防止するために、一定時間間隔でヘッドからインクを吐出します。ヘッドクリーニングの動作間隔時間を設定します。

操作手順

1. [スリープ CLEAN]を選択します。
   ☞ P.5-2

   メンテナンス
   スリープ　ＣＬＥＡＮ　＜ｅｎｔ＞

2. 【ENTER】キーを押します。

   ENTER

   スリープ　ＣＬＥＡＮ
   ドﾞウサ　カンカク　＝　８ｈ

3. ジョグキー【▲】または【▼】を押して、間隔時間を選びます。
   (4h, 8h, 12h, 24h, OFF)

   ▲ ▼

   スリープ　ＣＬＥＡＮ
   ドﾞウサ　カンカク　＝　１２ｈ

4. 【ENTER】キーを押します。

   ENTER

   メンテナンス
   スリープ　ＣＬＥＡＮ＜ｅｎｔ＞

5. 【END】キーを 2 回押します。
   ローカルモードに戻ります。

   END
   ２回

   ＜ローカル＞
   ハハﾞ：６１０ ｍｍ

ヘッドクリーニングでノズル詰まりが復旧しない場合

ヘッドクリーニング（ ☞ P.2-7）をしてもノズル詰まりが改善しない場合、以下の２機能を実行します。

インクジュウテン ： インクを充填します。
センジョウ ： 専用の洗浄液（別売）でヘッド、チューブ、ダンパ内を洗浄します。

インクを充填する[ｲﾝｸｼﾞｭｳﾃﾝ]

1. [インクジュウテン]を選択します。
   ☞ P.5-2

2. 【ENTER】キーを押します。
   自動的にインク充填を開始します。

   インク充填を終了すると、右の表示に戻ります。

3. 【END】キーを２回押すと、ローカルモードに戻ります。

専用洗浄液で洗浄する[ﾍｯﾄﾞｾﾝｼﾞｮｳ]

● **洗浄液カートリッジ(SPC-0407)は、お近くの販売店または弊社営業所にてお求めください。**

1. [ヘッドセンジョウ]を選択します。
   ☞ P.5-2

メンテナンス
ヘッドセンジョウ ＜ ent ＞

2. 【ENTER】キーを押します。

3. インクカートリッジを外します。
   充填してあるインクを廃インクタンクへ排出します。

4. 右の表示になったら、洗浄液カートリッジをセットします。
洗浄液を吸引します。

センジョウ センジョウジグヲセット

5. 右の表示になったら、洗浄液カートリッジを外します。
空吸引します。

センジョウ センジョウジグヲハズス

6. 右の表示になったら、洗浄液カートリッジをセットします。
洗浄液を吸引します。

センジョウ センジョウジグヲセット

7. 右の表示になったら、洗浄液カートリッジを外します。
吸引した洗浄液を廃インクタンクへ排出します。

センジョウ センジョウジグヲハズス

全行程が終了すると、右の表示になります。

メンテナンス ヘッドセンジョウ < ent >

8. 【END】キーを2回押すと、インク充填モードに戻ります。
☞ セットアップガイド

END 2回

インクタイプ Sol - 4 color

設定条件を印刷する[リスト]

本装置の設定状態を出力します。メンテナンスの参考にしてください。

1. ファンクション機能の設定[セッテイ]に関する情報
2. メンテナンス機能のドット位置補正[ドットイチホセイ]情報
3. 各インクカートリッジの交換回数
4. 本装置で使用中のファームウェアのバージョン情報
5. 保守（サービスマン用）に必要な各設定値

```
   LIST   (System Ver1.00)   (I/F Ver1.40)   S/N : 00000000
(1) ｾｯﾃｲ              ﾀｲﾌﾟ1             <  ﾀｲﾌﾟ2  >            ﾀｲﾌﾟ3                ﾀｲﾌﾟ4
  ﾒﾃﾞｨｱ ﾎｾｲ     0          :ﾎｽﾄ     100        :ﾎｽﾄ      0          :ﾎｽﾄ      0          :ﾎｽﾄ
  ﾋｰﾀｰ    ﾌﾟﾘ   OFF        :ﾎｽﾄ     200        :ﾎｽﾄ      OFF        :ﾎｽﾄ      OFF        :ﾎｽﾄ
          ﾌﾟﾘﾝﾄ OFF                 20                   OFF                  OFF
          ﾟC/ﾟF ﾟC                  ﾟC                   ﾟC                   ﾟC
          ｽﾀﾝﾊﾞｲ 0min               10min                0min                 0min
          OFF   0min                30min                0min                 0min
  ｻｸｽﾞ ﾎｳｼｷ     ﾋｮｳｼﾞｭﾝ :ﾊﾟﾈﾙ       ﾊﾔｲ        :ﾊﾟﾈﾙ     ﾋｮｳｼﾞｭﾝ :ﾎｽﾄ         ﾋｮｳｼﾞｭﾝ :ﾎｽﾄ
     ﾎｳｺｳ       ﾀﾝﾎｳｺｳ              ﾀﾝﾎｳｺｳ               ﾀﾝﾎｳｺｳ               ﾀﾝﾎｳｺｳ
     ﾛｼﾞｶﾙｼｰｸ   ON                  ON                   ON                   ON
  ｶｻﾈﾇﾘ         1          :ﾎｽﾄ     1          :ﾎｽﾄ      1          :ﾎｽﾄ      1          :ﾎｽﾄ
  ｶﾝｿｳ ｼﾞｶﾝ     0.0s    0s:ﾎｽﾄ      0.0s    0s:ﾎｽﾄ       0.0s    0s:ﾎｽﾄ       0.0s    0s:ﾎｽﾄ
  ｵｰﾄ ｶｯﾄ       OFF        :ﾎｽﾄ     OFF        :ﾎｽﾄ      OFF        :ﾎｽﾄ      OFF        :ﾎｽﾄ
  ﾏｰｼﾞﾝ  ﾐｷﾞ    0mm                 0mm                  0mm                  0mm
         ﾋﾀﾞﾘ   0mm                 0mm                  0mm                  0mm
  ｶﾗｰﾊﾟﾀｰﾝ      OFF                 ON                   OFF                  OFF
  ﾘﾌﾚｯｼｭ        ﾚﾍﾞﾙ3      :ﾎｽﾄ     ﾚﾍﾞﾙ3      :ﾎｽﾄ      ﾚﾍﾞﾙ3      :ﾎｽﾄ      ﾚﾍﾞﾙ3      :ﾎｽﾄ
  ﾒﾃﾞｨｱ ｹﾝｼｭﾂ   ｾﾚｸﾄ                ｾﾚｸﾄ                 ｾﾚｸﾄ                 ｾﾚｸﾄ
  ｷｭｳﾁｬｸ        ﾋｮｳｼﾞｭﾝ             ﾋｮｳｼﾞｭﾝ              ﾋｮｳｼﾞｭﾝ              ﾋｮｳｼﾞｭﾝ
  ﾐﾘ/ｲﾝﾁ        ﾐﾘ                  ﾐﾘ                   ﾐﾘ                   ﾐﾘ
  ｽﾀﾝﾌﾟ ﾓｰﾄﾞ    OFF                 ON                   OFF                  OFF
        ﾀｲﾑ     OFF                 ON                   OFF                  OFF
  ｵｰﾄｸﾘｰﾆﾝｸﾞ    OFF                 OFF                  OFF                  OFF
(2) ﾜｲﾊﾟﾚﾍﾞﾙ    1/1
(3) ﾊｲｷ ﾌｧﾝ     OFF
(4) DISPLAY     Japanese
(5) ﾄﾞｯﾄ ｲﾁ ﾎｾｲ    ﾊﾟﾀｰﾝ1              ﾊﾟﾀｰﾝ2               ﾊﾟﾀｰﾝ3               ﾊﾟﾀｰﾝ4
                    0.0                 0.0                  0.0                  0.0
                   ﾊﾟﾀｰﾝ5              ﾊﾟﾀｰﾝ6               ﾊﾟﾀｰﾝ7
                    0.0                 0.0                  0.0
(6) ﾗﾝﾆﾝｸﾞﾒｰﾀｰ
  ｶｰﾄﾘｯｼﾞ       1: 87   2: 53   3: 42   4: 65   5: 58   6: 29
  ｻﾞﾝﾘｮｳ        1: 66%  2: 67%  3: 83%  4: 100% 5: 65%  6: 65%
  ｼｮｯﾄ ｶｳﾝﾄ     1: 1883         2: 1272         3: 1426
                4: 1351         5: 1909         6: 1806
  ｽｷｬﾝ ｶｲｽｳ     1             (x1000)
  ｻｸｽﾞ ﾒﾝｾｷ     5m²     53sq.ft.
  ｼﾖｳ ｼﾞｶﾝ      31h
  ｽﾘｰﾌﾟﾘﾌﾚｯｼｭ   0       0h9m
  Date : 02.10.04 23:36
```

操作方法

1. [リスト]を選択します。
   ☞ P.5-2

2. 【ENTER】キーを押します。
   自動的に印刷を開始します。

3. 【END】キーを２回押します。
   ローカルモードに戻ります。

HEX コードで印刷する[ﾃﾞｰﾀﾀﾞﾝﾌﾟ]

コマンドエラーやパラメーターエラー（☞ P.6-8）が発生した際に使用します。
コンピュータから受信したデータコマンドを、HEX コードで出力します。
HEX コードとは、作図コマンドを英数コードで表記した物です。

出力したデータをお近くの弊社営業所まで郵送、または FAX でお送りください。出力結果を見て、データコマンドに異常がないかを確認します。

操作方法

1. [データダンプ]を選択します。
   ☞ P.5-2

2. 【ENTER】キーを押します。
   自動的に印刷を開始します。

3. 【END】キーを 2 回押します。
   ローカルモードに戻ります。

END
2回

＜ローカル＞
ハバ：６１０ mm

ワイパ寿命の警告表示[ﾜｲﾊﾟﾚﾍﾞﾙ]

ワイパは消耗品です。
ホコリの多い環境などでは、ヘッドが汚れやすくなります。また、曲がったり摩耗したワイパではクリーニング効果が得られません。
環境により、ワイパ交換時期の警告を標準より早期に促します。

1/1： 標準のワイピング回数でワイパ交換の警告を表示します。（初期値）
1/2： 標準の 1/2 回でワイパ交換の警告を表示します。
1/3： 標準の 1/3 回でワイパ交換の警告を表示します。
1/4： 標準の 1/4 回でワイパ交換の警告を表示します。
（ホコリが多い場所では 1/4 に設定します。）

操作方法

1. [ワイパレベル]を選択します。
☞ P.5-2

メンテナンス
ワイパレベル < ent >

2. 【ENTER】キーを押します。

ENTER

ジュウテンチュウ
ワイパレベル ： 1 / 1

3. ジョグキー【▲】または【▼】を押して、
ワイパ交換の警告表示レベルを選択します。

▲ ▼

ジュウテンチュウ
ワイパレベル ： 1 / 3

4. 【ENTER】キーを押します。

ENTER

メンテナンス
ワイパレベル < ent >

5. 【END】キーを 2 回押します。
ローカルモードに戻ります。

END
2回

時刻を設定する[ジコクセッテイ]

本装置はカレンダーを内蔵しています。ここで設定した日時が、セッテイ項目の[タイムスタンプ]機能に反映し、日付/時刻を表示します。☞ P.4-9

操作手順

1. [ジコクセッテイ]を選択します。
   ☞ P.5-2

   メンテナンス
   ジコクセッテイ　　< ent >

2. 【ENTER】キーを押します。

   ENTER

   メンテナンス
   DATE　　＝２００３.０８.０８

3. 日付を設定します。
   ジョグキー【◀】または【▶】を押して、左右の桁を移動します。
   ジョグキー【▲】または【▼】を押して、値を変更します。

   メンテナンス
   DATE　　＝２００４.０１.０１

4. ジョグキー【▲】または【▼】を押して、[TIME]を選びます。

   メンテナンス
   TIME　　＝１６：２０：０７

5. 時刻を設定します。
   ジョグキー【◀】または【▶】を押して、左右の桁を移動します。
   ジョグキー【▲】または【▼】を押して、値を変更します。

   メンテナンス
   TIME　　＝１２：００：００

6. 【ENTER】キーを押します。

   ENTER

7. 設定した日付を表示します。
   ジョグキー【▲】または【▼】を押すと、設定した時刻を表示します。

   メンテナンス
   DATE　　＝２００４.０１.０１

8. 【END】キーを３回押します。
   ローカルモードに戻ります。

   END
   ３回

   <ローカル>
   ハバ：６１０ mm

本装置の情報を表示する[ﾏｼﾝｼﾞｮｳﾎｳ]

本装置の「ファームウェアバージョン / シリアル番号 / ディーラー番号」を表示します。
トラブル発生時、付録の「お問い合わせシート」にこの情報とトラブル内容を記入して、販売店または弊社営業所までお送りください。

操作手順

1. [マシンジョウホウ]を選択します。
   ☞ P.5-2

   メンテナンス
   マシンジョウホウ < ent >

2. 【ENTER】キーを押します。

   ENTER

   メンテナンス
   バージョン < ent >

3. 再度、【ENTER】キーを押します。
   ファームウェアバージョンを表示します。

   ENTER

   MAIN Ver ＊＊.＊＊
   I / F Ver ＊＊.＊＊

4. 【END】キーを押します。

   END

   メンテナンス
   バージョン < ent >

5. ジョグキー【▲】または【▼】を押して、[シリアル No.]を選びます。

   ▲ ▼

   メンテナンス
   シリアル N o < ent >

6. 【ENTER】キーを押します。
   本装置のシリアル番号を表示します。

   ENTER

   メンテナンス
   S / N ＊＊＊＊＊＊＊＊

7. 【END】キーを押します。

   END

   メンテナンス
   シリアル N o < ent >

8. ジョグキー【▲】または【▼】を押して、[ディーラー No.]を選びます。

   ▲ ▼

   メンテナンス
   ディーラーN o < ent >

9. 【ENTER】キーを押すと、本装置のディーラー番号を表示します。

   ENTER

   メンテナンス
   D / N ＊＊＊＊＊＊＊＊

10. 【END】キーを３回押します。
    ローカルモードに戻ります。

    END
    ３回

    <ローカル>
    ﾊﾊﾞ：６１０ mm

インクセット（4 色 /6 色＋白）を変更する

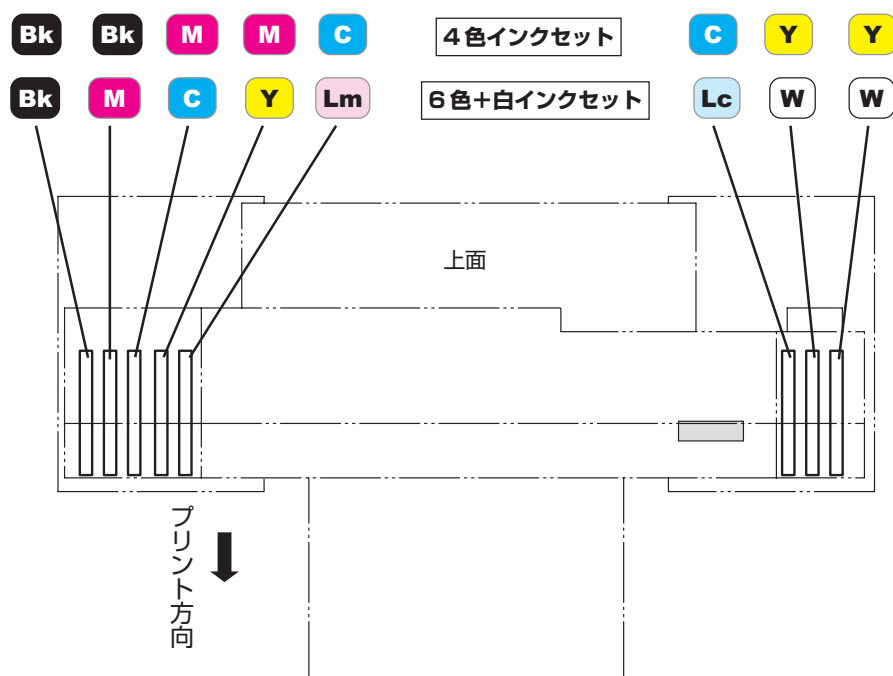
現在使用しているインクセット を変えることができます。

- **4 色インクセットから 6 色＋白インクセットへの変更**
- **6 色＋白インクセットから 4 色インクセットへの変更**

4 色インクセット

４色のインク（K :ブラック、M :マゼンタ、C :シアン、Y :イエロー）を２本ずつセットします。
インクステーション下にあるカートリッジ色順ラベルの上段に合わせて、インクカートリッジをセットします。

6 ＋白色インクセット

６色のインク（K :ブラック、M :マゼンタ、C :シアン、Y :イエロー、Lm :ライトマゼンタ、LC :ライトシアン）を１本ずつセットします。白インクのみ、２本セットします。
インクステーション下にあるカートリッジ色順ラベルの下段に合わせて、インクカートリッジをセットします。

操作手順

1. [ヘッドセンジョウ]を選択します。
P.5-2

メンテナンス
ヘッドセンジョウ　　　　＜ent＞

2. 【ENTER】キーを押します。

3. ジョグキー【▲】【▼】または【◀】【▶】を押して、洗浄するヘッドを選択します。
ここではすべてのヘッドを選択します。

ヘッドセンジョウ
ヘッド　センタク　：12.34

4. 【ENTER】キーを押します。

センジョウ
カートリッジヲハズス

5. インクカートリッジを外します。
充填してあるインクを廃インクタンクへ排出します。

6. 右の表示になったら、洗浄液カートリッジをセットします。
洗浄液を吸引します。

センジョウ
センジョウジグヲセット

- **洗浄液カートリッジ（SPC-0407）は、お近くの販売店または弊社営業所にてお求めください。**

7. 右の表示になったら、洗浄液カートリッジを外します。
空吸引します。

センジョウ
センジョウジグヲハズス

8. 右の表示になったら、洗浄液カートリッジをセットします。
洗浄液を吸引します。

センジョウ
センジョウジグヲセット

9. 右の表示になったら、洗浄液カートリッジを外します。
吸引した洗浄液を廃インクタンクへ排出します。

センジョウ
センジョウジグヲハズス

10. 全行程が終了すると、右の表示になります。

メンテナンス
ヘッドセンジョウ　　< ent >

11. 【END】キーを２回押します。
インク充填モードに戻ります。

12. ジョグキー【▲】または【▼】を押して、変更するインクに合致するインクタイプを選択します。

SS2Sol - 4Color
SS2Sol - 6+White

13. 【ENTER】キーを押します。

14. インクカートリッジを各インクステーションに差し込みます。
インクカートリッジを所定の位置まで差し込むと、音をならしてお知らせします。

インクカートリッジをセットすると、自動的にインク充填が始まります。

カートリッジヲ
セットシテ　クダサイ

ジュウテンチュウ
シバラクオマチクダサイ

ジュウテンチュウ

インク充填が終了すると、ローカルモードになります。

<ローカル>
ハバ：６１０ mm

6章
困ったときは

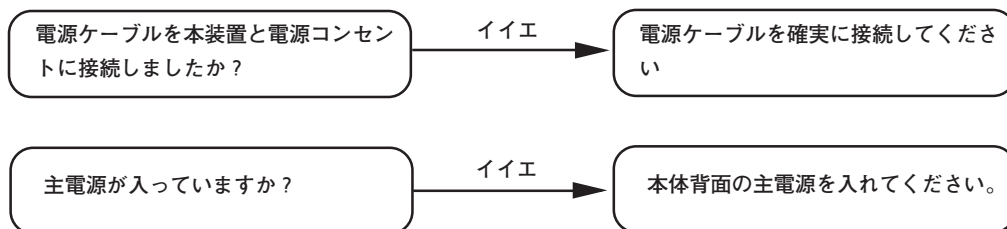
6章では、本装置になんらかの異常が発生した場合や、エラーメッセージを表示した場合のトラブル解消方法について説明します。

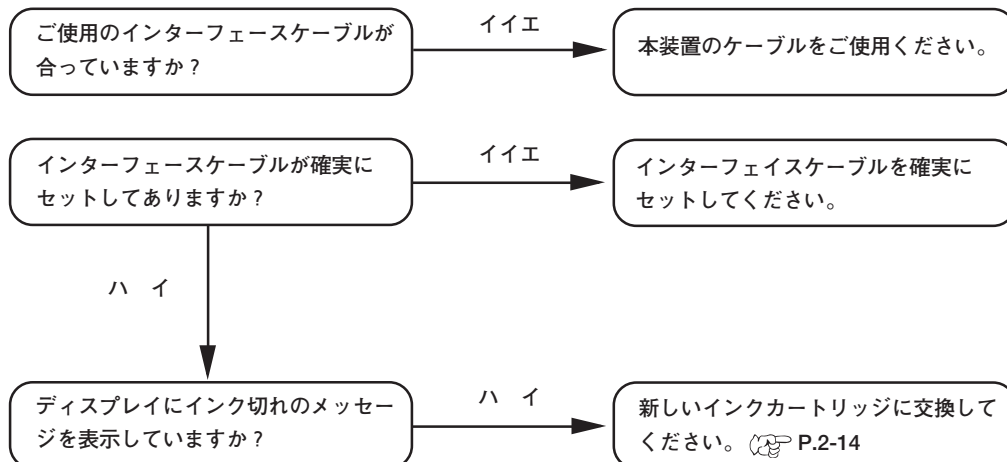
本章の内容

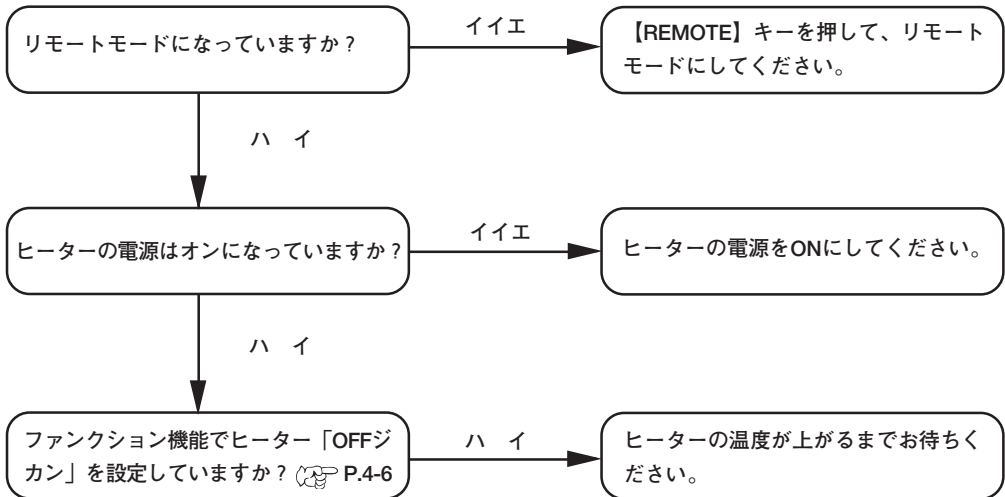
故障？と思う前に

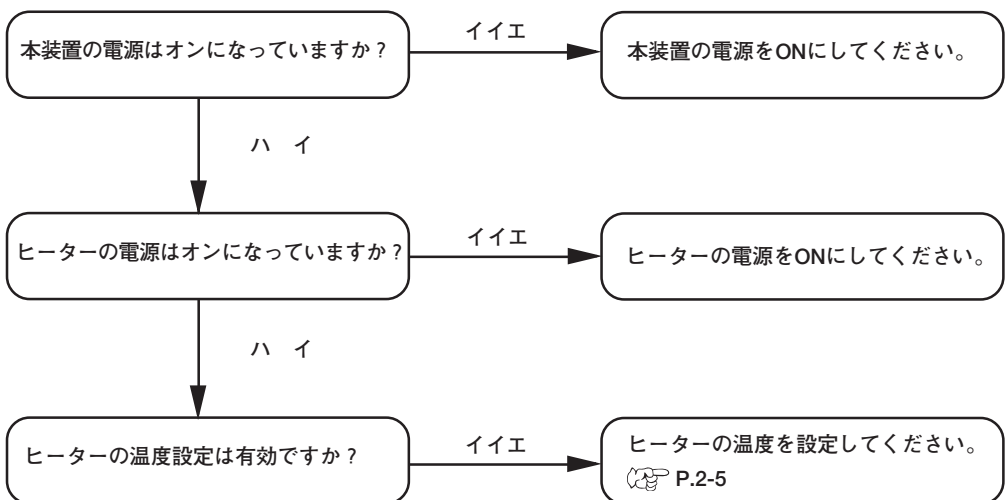
エラーメッセージを表示しない場合のトラブルの対処方法について説明します。
故障？と思う前にもう一度確認してください。対処しても正常に戻らない場合は、販売店または弊社営業所にご連絡ください。

電源が入らない

電源が入らない原因の多くは、電源やコンピュータのケーブル接続ミスによるものです。
接続が適正か、もう一度確認してください。

プリントできない

本装置にデータが適正に送られていない可能性があります。
また、ケーブルなどの接続に問題がある場合などが考えられます。

データ受信後、すぐにプリントできない

ヒーターの温度が下がっていると、設定温度まで温度を上げるのに時間がかかる場合などが考えられます。

[HEAT]ランプ、[CONSTANT]ランプが点灯しない

基本操作を確認してください。

画質不良が発生した場合は

ここでは、作図品質に問題がある場合の対処方法を説明します。症状に従って対処してください。対処しても改善しない場合は、販売店または弊社営業所にご連絡ください。

白スジ／カスレ / 色の濃いスジが発生する（ヘッド移動方向）

対処方法　① ヘッドクリーニングをしてください。☞ P.2-6
② ステーション内部のメンテナンスを行ってください。☞ P.3-4, 5-4

往復印字でズレが発生する

対処方法　①「ドット位置補正」機能を実行してください。☞ P.5-11

色ごとにインクが重ならない

対処方法　①「ドット位置補正」機能を実行してください。☞ P.5-11

プリント中にインク滴が落ちる

対処方法　① ワイパをクリーニングしてください。☞ P.3-4
② インクキャップをクリーニングしてください。☞ P.3-4
③ ヘッドクリーニングの[ノーマル]を実行してください。☞ P.2-7

ビーディングが発生する

対処方法　① ヒーターの温度を上げてください。☞ P.2-5

ビーディングとは・・・
隣り合うドットが引きつきあって一つのドットになろうとするため、不規則な隙間あるいは濃度差が発生します。この結果、画質は低下します。

作図範囲外に汚れがつく

対処方法　① ヘッドの高さを調整してください。☞ P.2-10
毛羽だったメディアやシワのあるメディアは、【CYCLE START】キーで設定した後、更にヘッドの高さを数mm上げてください。☞ P.4-15

発色に違いが表れる

対処方法　① ロジカルシークの「ON/OFF」設定を同じにしてください。☞ P.4-7
② プリントしてから後処理までの時間を一定にしてください。☞ P.2-13

カートリッジ異常が発生したら

インクカートリッジに異常が発生したら、メッセージを表示します。
プリント、クリーニング等、インク吐出に関する動作は全て行えません。
速やかに新しいインクカートリッジに交換してください。

**★ カートリッジ異常を表示したまま、長時間放置しないでください。
ノズル詰まりの防止機能が動作しなくなります。
ノズルが詰まった場合、サービスマンによる修理が必要になります。**

カートリッジ異常の詳細を表示し、異常の内容を確認できます。

確認方法

1. ローカルモード時に【ENTER】キーを押します。

（4色インクセット時）

2. 【ENTER】キーを押します。
   - インクカートリッジに異常がなければ、ローカルモードに戻ります。

   - 複数のカートリッジに異常が発生した場合、再度【ENTER】キーを押すと、異常内容を表示します。P.6-6
     【ENTER】キーを押し、すべてのカートリッジ異常の表示が終わると、ローカルモードに戻ります。

ENTER

インクカラー
KKMMCCYY

メッセージを表示するトラブル

何らかの異常が発生すると、ブザーが鳴り、ディスプレイにメッセージを表示します。
メッセージの内容によって対処してください。

ワーニングエラー

主にインク関連に対して発生します。

エラーメッセージ	原　因	対処方法
<ローカル> カートリッジ　　KKMMCCYY	装着したインクカートリッジに問題があります。	【ENTER】キーを押すと、エラーの詳細を表示します。確認してください。☞ P.6-5
<ローカル> ニアエンド　　KKMMCCYY	インクカートリッジのインク残量が少なくなりました。	【REMOTE】キーを押すと、1ファイルごとプリントできます。表示している色のインクカートリッジを早めに交換してください。
<ローカル> インクエンド　　KKMMCCYY	インクカートリッジのインクが終わりました。	表示している色のインクカートリッジを交換してください。
<ローカル> インクキゲン　　KKMMCCYY	インクカートリッジの有効期限が切れています。あるいは、有効期限が切れかかっています。	【REMOTE】キーを押すと、プリントできます。表示している色のインクカートリッジを早めに交換してください。
<ローカル> ワイパコウカンシテクダサイ	キャッピングステーションのワイパ交換時期です。	【REMOTE】キーを押すと、プリントできます。電源を入れる度にエラーを表示します。 早めに新しいワイパと交換してください。☞ P.5-5
<ローカル> テストサクズシテクダサイ	放置時間が長いため、ノズルの復旧が見込めません。	テスト印刷を行ってください。 ノズル抜けがひどい場合は、メンテナンスの[ｽﾃｰｼｮﾝﾒﾝﾃ] - [ﾉｽﾞﾙｾﾝｼﾞｮｳ]を実行してください。
ヒジュンセイ　インク KKMMCCYY	インクカートリッジがミマキ純正品ではありません。	ミマキ純正品をお使いください。

＊６色＋白インクセット時は、「KKMMCCYY」の表示が「KMCYmcWW」となります。

エラーメッセージ	原　因	対処方法
インク　IC　イジョウ KKMMCCYY	インクカートリッジのICチップが正常に読めませんでした。	表示している色のインクカートリッジを再挿入してください。再度、表示する場合は、販売店または弊社営業所にサービスコールしてください。
インク　シュルイ KKMMCCYY	装填したインクカートリッジの種類が、前回装填した種類と異なります。	装填したインクカートリッジの種類を確認してください。
インク　カラー KKMMCCYY	装填したインクカートリッジの色が、前回装填した色と異なります。	表示している色と装填したインクカートリッジの色を確認してください。
カートリッジ　イジョウ KKMMCCYY	装填したインクカートリッジが異常です。	装填したインクカートリッジに異常があります。確認してください。
カートリッジ　ナシ KKMMCCYY	インクカートリッジがインクステーションに取り付けてありません。	表示しているインクカートリッジをインクステーションに取り付けてください。
＊リモート＊　！ヒーター タイプ　＊　　＊.＊ ＜ローカル＞　！ヒーター ハバ：＊＊＊mm	ヒーターで異常が発生しています。	【END】キーを押すと、エラーの詳細を表示します。確認してください。
ヒーター　ノ　デンゲンガ ハイッテイマセン	ヒーターの電源がOFFになっています。	ヒーターの電源をオン にしてください。再度表示するときは、サービスコールしてください。
Print　　ダンセン	ヒーターが断線しています。	販売店または弊社営業所にサービスコールしてください。
Print　　サーミスタ	ヒーターのサーミスタに異常があります。	

エラーメッセージ

エラーメッセージは、エラー番号を表示します。
エラーメッセージを表示した場合は、電源をオフにして、しばらくたってから電源をオンにしてください。
それでもメッセージを表示する場合は、販売店または弊社営業所にご連絡（サービスコール）ください。

エラーメッセージ	原　　因	対処方法
ＥＲＲＯＲ　０１ MAIN ROM ＥＲＲＯＲ　０２ MAIN RAM	制御基板に異常が発生しました。	一度、電源をオフにして、しばらくたってから電源をオンにしてください。再度、表示する場合は、販売店または弊社営業所にサービスコールしてください。
ＥＲＲＯＲ　０３ POWER +5V	制御基板に異常が発生しました。 POWER+5V POWER+35V	
ＥＲＲＯＲ　０４ フラッシュ ROM ＥＲＲＯＲ　０６ D-RAM	制御基板に異常が発生しました。	
ＥＲＲＯＲ　０７ ヘッドーー＊ーーーーー	ヘッドの接続に異常を検出しました。	
ＥＲＲＯＲ　０８ リニアエンコーダ n	リニアエンコーダの検出で異常が発生しました。	
ＥＲＲＯＲ　０９ HDCエラー	制御基板に異常が発生しました。 FPGA エラー HDC エラー	
ＥＲＲＯＲ　１０ コマンドエラー	コマンドデータ以外のデータを受信しました。 本装置に適合していないインターフェースケーブルが使われています。	インターフェースケーブルを確実に接続してください。 規格に適合したインターフェースケーブルを使用してください。
ＥＲＲＯＲ　１１ パラメータエラー	数値範囲外のパラメータを受信しました。	一度、電源をオフにして、しばらくたってから電源をオンにしてください。再度、表示する場合は、販売店または弊社営業所にサービスコールしてください。

エラーメッセージ	原　　因	対処方法
ＥＲＲＯＲ　１３ セツゾクＲＩＰ	本装置で接続できないRIPからデータを受信しました。	本装置で使用できるRIPからデータを送信してください。RIPについては、販売店または弊社営業所にサービスコールしてください。
ＥＲＲＯＲ　１５ オフスケール	プリント範囲外のデータを受信しました。（X方向）	プリント範囲に収まるようにデータを送信してください。 P.4-10
ＥＲＲＯＲ　２０ Ｉ/Ｆボード	I/Fボードと制御基板のインターフェースにエラーが発生しました。	一度、電源をオフにして、しばらくたってから電源をオンにしてください。再度、表示する場合は、販売店または弊社営業所にサービスコールしてください。
ＥＲＲＯＲ　２１ Ｉ/Ｆナシ	I/Fボードが制御基板に装着されていません。	
ＥＲＲＯＲ　２３ ホストＩ/Ｆ	ホストコンピュータとI/Fボードとの通信にタイムアウトエラーが発生しました。	ケーブルが確実に接続してあるか、またはホストコンピュータ側でエラーが発生していないか確認してください。
ＥＲＲＯＲ　２４ Ｉ/Ｆイニシャル	I/Fボードと制御基板の初期動作不良です。	一度、電源をオフにして、しばらくたってから電源をオンにしてください。 再度、表示する場合は、販売店または弊社営業所にサービスコールしてください。
ＥＲＲＯＲ　３０ オペレーション　エラー	操作パネルで不当なオペレーションをしました。	正しいオペレーションを行ってください。
ＥＲＲＯＲ　３４ ミサクズデータアリ	受信済みで未プリントのデータがあるのに、ファンクション機能の設定を変更しようとしています。	受信済みのデータを全てプリントするか、データクリアを実行してから、設定機能を変更してください。
ＥＲＲＯＲ　４０ モーターアラームＸ	Xモーターに過大な負荷がかかりました。	一度、電源をオフにして、しばらくたってから電源をオンにしてください。再度、表示する場合は、販売店または弊社営業所にサービスコールしてください。
ＥＲＲＯＲ　４１ モーターアラームＹ	Yモーターに過大な負荷がかかりました。	

エラーメッセージ	原　　因	対処方法
ERROR 42 Xオーバーカレント	Xモーターの過電流エラーを検出しました。	一度、電源をオフにして、しばらくたってから電源をオンにしてください。再度、表示する場合は、販売店または弊社営業所にサービスコールしてください。
ERROR 43 Yオーバーカレント	Yモーターの過電流エラーを検出しました。	
ERROR 46 ワイパ	ワイパの位置が適正ではありません。	
ERROR 51 Yゲンテン ケンシュツ	Y原点検出ができませんでした。	
ERROR 55 Xゲンテン ケンシュツ	X原点検出ができませんでした。	
ERROR 56 Zゲンテン ケンシュツ	Z原点検出ができませんでした。	
ERROR 71 ワーク　タカイ	プリント時、またはジョグモード時、センサーがメディアを検出しました。ヘッドがメディアにこする可能性があります。	正しくメディアをセットしてください。 またはヘッド高さを変更してください。 P.4-15
ERROR 73 ワーク　センサ	ワークセンサが、メディアを検出できませんでした。またはメディアのセットに問題があります。	正しくメディアをセットしてください。
ERROR 120 カンキョウ　オンド　ヒクイ ERROR 121 カンキョウ　オンド　タカイ	環境温度が、本装置の動作保証範囲外です。画質不良が発生する恐れがあります。	適切な環境温度にしてください。（20～35℃）

付録

各種仕様や構成品、メニュー構造を示します。

本章の内容

本体仕様

項　目		GP-604S
作図ヘッド部	方式	ドロップオンデマンドピエゾヘッド
	仕様	4ヘッド　インライン
	ノズル構成	4色インクセット：各色 360 ノズル 6色+白インクセット：各色 180 ノズル（白：360 ノズル）
	作図分解能	360, 540, 720, 1440 dpi
作図モード	4色インクセット	360 x 540 dpi : 3/6/12 pass, 双方向 / 単方向 360 x 720 dpi : 2/4/8 pass, 双方向 / 単方向 720 x 720 dpi : 2/4/8 pass, 双方向 / 単方向
	6色インクセット	360 x 540 dpi : 3/6/12 pass, 双方向 / 単方向 360 x 720 dpi : 4/8/16 pass, 双方向 / 単方向 720 x 720 dpi : 4/8/16 pass, 双方向 / 単方向
使用可能インク		専用ソルベントインク：SS2 インク 4色インクセット（K, M, C, Y 各2本） 6色インクセット（K, M, C, Y, Lc, Lm 各1本+白2本)
インク供給		インクカートリッジからのチューブ供給 インク残量表示機能あり（IC 搭載あり） インクエンド検出機能あり インクカートリッジ交換方式
インク容量		各色（220 cc ± 5 cc） 1カートリッジあたり約 200 cc 使用可能
最大作図範囲		幅：610 mm (360 x 360/540/720 dpi で高速モード作図時は、570 mm) 奥行：420 mm
廃インクタンク		ボトル式（1リットル） 目視による交換時判断
インターフェース		IEEE1394 準拠
コマンド		MRL-IIE（バリアブルドット対応） <ESC/P レベル2ベース　ミマキオリジナルコマンド>
騒音	待機時	58 dB 以下(FAST-A, 前後左右 1 m)
	動作連続音	65 dB 以下
	動作不連続音	70 dB 以下
適合規格		UL, VCCI-Class A, FCC Class A, CE マーキング
電源仕様		AC100 ～ 240 V ± 10 %（オートボルテージ） 50/60 Hz ± 1 Hz
消費電力		1KVA 以下
設置環境	使用可能温度	20 ℃ ～ 35 ℃
	相対湿度	35 ～ 65 %Rh (結露なきこと)
	精度保証温度	20 ℃ ～ 25 ℃
	温度勾配	± 10 ℃/h 以下
	粉塵	一般事務所相当
重量		145 kg,
治具テーブル面高さ		約 400 mm
外形寸法		1660 mm (W) X 1070 mm (D) x 650 mm (H)

インク仕様

項　目		仕　様
形態		専用ソルベントインクカートリッジ
色		ブラックインクカートリッジ
		シアンインクカートリッジ
		マゼンタインクカートリッジ
		イエローインクカートリッジ
		ライトシアンインクカートリッジ
		ライトマゼンタインクカートリッジ
		ホワイトインクカートリッジ
インク容量		220cc カートリッジ
有効期間		製造日より１年間（常温） 開封から３カ月以内
保存温度	保存時	1℃～40℃（40℃の場合1カ月以内）
	輸送時	1℃～60℃ （60℃の場合120時間以内、40℃の場合1カ月以内）

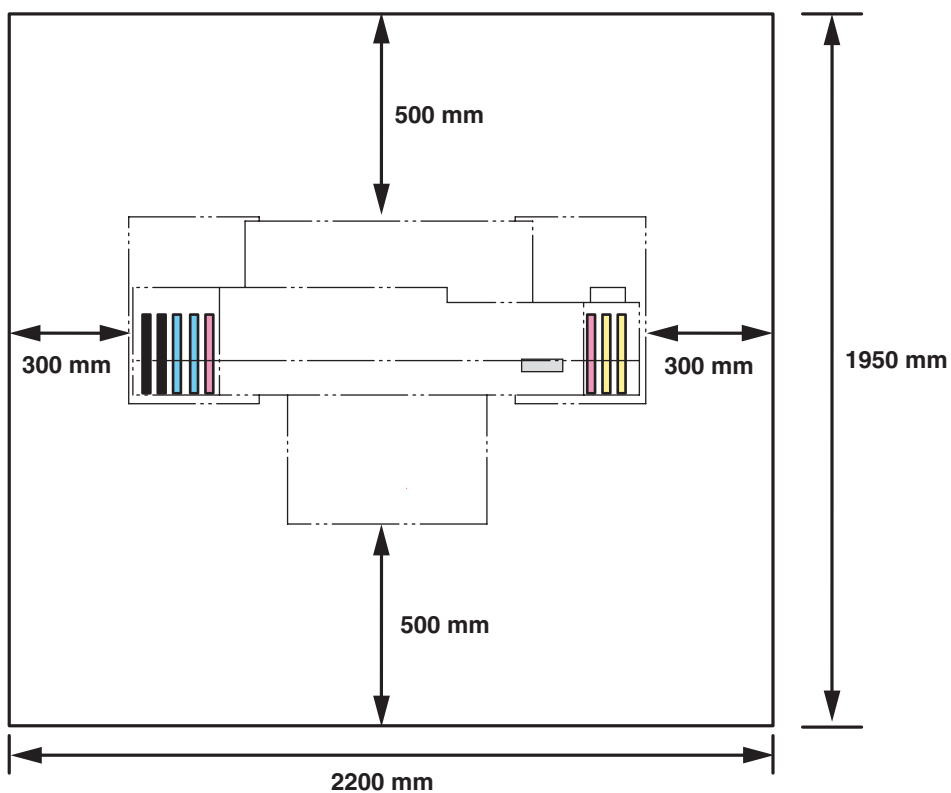
付録

設置場所について

本装置を移設する場合は、弊社営業所または販売店までご連絡ください。
やむを得ず、本装置を移設する場合は、下記のスペースを確保してください。

本装置サイズ

横	縦	高さ	全体重量
1660 mm	1070 mm	650 mm	150kg 以下

注意

★ 移動する際は、大きな振動を与えないでください。
★ 安全のため、4 人以上で運んでください。
★ 移動する際は、電源ケーブルを抜き、ヒーターの温度が十分下がってから移動してください。

お問い合わせシート

プリンターの故障、異常動作については、このシートをお使いください。
下記の必要事項をご記入の上、巻末の弊社営業所まで FAX でお送りください。

御社名	
ご担当者名	
電話番号	
プリンター機種名	
お使いの OS	
マシン情報 *	
エラーメッセージ	
お問い合わせ内容	

* [マシンジョウホウ]で表示した情報をご記入ください。☞ P.5-23

付録

原点設定方法
<ローカル> ハバ :xxxmm
ゲンテン セッテイ 0.0 -------
ゲンテン セッテイ Zタカサ -------
ENT
ゲンテン セッテイ ** ゲンテン **
TEST キー： TEST
<ローカル> ハバ :xxxmm
テストサクズ <ENT>
ENTER
** テストサクズ **
CLEANING キー： CLEANING
<ローカル> ハバ :xxxmm
クリーニング タイプ :ノーマル
ノーマル, ソフト, キョウリョク
クリーニング チュウ
DATA CLEAR キー： DATA CLEAR
<ローカル> ハバ :xxxmm
データ クリア <ENT>
** データ クリア **
CYCLE START キー： CYCLE START
<ローカル> ハバ :xxxmm
<ローカル> ワークセンシング チュウ
＊リモート＊ タイプ 1 xxx
インク残量チェック： ENTER
<ローカル> ハバ :xxxmm
<ローカル>KKMMCCYY ザンリョウ 56789123
6色＋白の場合
<ローカル>KMCYmcWW ザンリョウ 56789123
カートリッジなし ニアエンド フル
— 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
エンド
LED POINTER キー： LED POINTER
<ローカル> ハバ :xxxmm
LEDポインタ : P0 xxx.x xxx.x
LEDポインタ : P1 xxx.x xxx.x
LEDポインタ : P2 xxx.x xxx.x
LEDポインタ xxx.x xxx.x
POWER
TEST CLEANING DATA CLEAR
LED POINTER FUNCTION REMOTE
CYCLE START END ENTER

FUNCTION キー： FUNCTION
<ローカル> ハバ :xxxxmm
FUNCTION
FUNCTION セッテイ <ENT>
ENTER
セッテイ センタク :タイプ 1
タイプ 1 〜 4
ENTER
タイプ ＊ フィードホセイ <ent>
ENTER
タイプ ＊ サクズカイシ : ent
ENTER
サクズチュウ シバラクオマチクダサイ
>
タイプ ＊ ホセイチ = 0
-255 〜 255
タイプ ＊ ヒーター <ent>
タイプ ＊ プリントヒート <ent>
タイプ ＊ プリントヒート :20°C
OFF, 20 〜 60℃, 68 〜 140°F
タイプ ＊ °C/°F <ent>
タイプ ＊ °C/°F :°C
°C/°F
タイプ ＊ スタンバイ <ent>
タイプ ＊ スタンバイ :ナシ
ナシ, 10 〜 90min
タイプ ＊ OFFジカン <ent>
タイプ ＊ OFFジカン :ナシ
ナシ, 30,60,90min
INTELLIGENT HEATER
PRINT HEATER
HEAT CONSTANT
ON
OFF
FUNCTION , ∧,∨
タイプ ＊ サクズホウシキ <ent>
タイプ ＊ サクズヒンシツ <ent>
タイプ ＊ サクズヒンシツ :ヒョウジュン
ヒョウジュン, キレイ, ハヤイ
タイプ ＊ ホウコウ <ent>
タイプ ＊ ホウコウ :タンホウコウ
タンホウコウ, ソウホウコウ
タイプ ＊ ロジカルシーク <ent>
タイプ ＊ ロジカルシーク :ON
ON, OFF
タイプ ＊ カサネヌリ <ent>
タイプ ＊ カサネヌリ :1
1 〜 9 回
タイプ ＊ カンソウジカン <ent>
タイプ ＊ スキャン :0.0s
0.0 〜 9.9s
タイプ ＊ ユウセンジュンイ <ent>
タイプ ＊ フィードホセイ :ホスト
ホスト, パネル
タイプ ＊ ヒーター :ホスト
ホスト, パネル
タイプ ＊ サクズホウシキ :ホスト
ホスト, パネル
タイプ ＊ カサネヌリ :ホスト
ホスト, パネル
タイプ ＊ カンソウジカン :ホスト
ホスト, パネル
続く
続く

続き
FUNCTION セッテイ <ENT>
FUNCTION
タイプ ＊ リフレッシュ <ent>
ENTER
タイプ ＊ リフレッシュ : レベル3
レベル0 ～ 3
タイプ ＊ ミリ/インチ <ent>
タイプ ＊ ミリ/インチ :ミリ
ミリ, インチ
タイプ ＊ スタンプ <ent>
タイプ ＊ モード スタンプ <ent>
タイプ ＊ モード スタンプ :OFF
OFF, ON
タイプ ＊ タイム スタンプ <ent>
タイプ ＊ タイム スタンプ :OFF
OFF, ON
タイプ ＊ オートクリーニング <ent>
タイプ ＊ オートクリーニング :OFF
OFF, ON
タイプ ＊ ワークチェンジ <ent>
タイプ ＊ ワークチェンジ : OFF
OFF, ON
タイプ ＊ LEDポインタ <ent>
タイプ ＊ LEDポインタ : ポイント
ポイント, エリア
タイプ ＊ セッテイ リセット <ent>
タイプ ＊ リセット : ent
FUNCTION ヘッドギャップ <ENT>
FUNCTION ヘッドギャップ :2.5 mm
1.0 ～ 8.0
ヘッドギャップ ＊＊.＊ ＊＊.＊
Z
ヘッドギャップ =2.5 mm
FUNCTION メンテナンス <ENT>
メンテナンス ステーション メンテ <ent>
ステーション メンテ メンテ :キャリッジ アウト
ステーション メンテ シュウリョウ :ent
ショキカ チュウ シバラク オマチクダサイ
ステーション メンテ メンテ :ワイパ コウカン
ステーション メンテ シュウリョウ :ent
ショキカ チュウ シバラク オマチクダサイ
ステーション メンテ メンテ :ノズル センジョウ
ワイパ クリーニング シュウリョウ :ent
センジョウエキヲ ミタス シュウリョウ :ent
ステーション メンテ ホウチジカン : 1min
1 ～ 99
ショキカ チュウ シバラク オマチクダサイ
続く
続く
続く

続き
続き
続き
ステーション メンテ
メンテ :ハイロ センジョウ
ENTER
ステーション メンテ
シュウリョウ :ent
ENTER
ショキカ チュウ
シバラク オマチクダサイ
ステーション メンテ
メンテ :ホカン センジョウ
ENTER
ワイパ クリーニング
シュウリョウ :ent
ENTER
センジョウエキヲ ミタス
シュウリョウ :ent
ENTER
ステーション メンテ
ホウチジカン : 1min
1 ～ 99
ENTER
ショキカ チュウ
シバラク オマチクダサイ
ENTER
ステーション メンテ
シュウリョウ :ent
メンテナンス
ドットイチホセイ <ent>
ENTER
メンテナンス
サクズカイシ :ent
ENTER
サクズ チュウ
シバラク オマチクダサイ
メンテナンス
パターン1 = 0.0
パターン1 ～ 7
-40.0 ～ 40.0
FUNCTION
メンテナンス
テイキワイピング <ent>
ENTER
テイキワイピング
スキャンカイスウ <ent>
ENTER
テイキワイピング
スキャンカイスウ = 0
0 ～ 200
テイキワイピング
オンドサ <ent>
ENTER
テイキワイピング
オンドサ = 20℃
1 ～ 60℃
FUNCTION
メンテナンス
スリープCLEAN<ent>
ENTER
スリープ CLEAN
ドウサカンカク = 8h
4, 8, 12, 24 ,OFF
FUNCTION
メンテナンス
インクジュウテン <ent>
ENTER
ジュウテンチュウ
**********------------
FUNCTION
メンテナンス
ヘッドセンジョウ <ent>
ENTER
センジョウ
カートリッジヲ ハズス
センジョウ チュウ
シバラク オマチクダサイ
センジョウ
センジョウジグヲセット
センジョウ チュウ
シバラク オマチクダサイ
センジョウ チュウ
センジョウジグヲハズス
センジョウ チュウ
シバラク オマチクダサイ
センジョウ
センジョウジグヲ ハズス
センジョウ チュウ
シバラク オマチクダサイ
センジョウ
センジョウジグヲセット
センジョウ チュウ
シバラク オマチクダサイ
FUNCTION
メンテナンス
リスト <ent>
ENTER
メンテナンス
サクズ チュウ
FUNCTION
続く
続く

続き
続き
メンテナンス
デ゛ータダ゛ンプ゜ <ent>
ENTER
メンテナンス
** デ゛ータダ゛ンプ゜ **
FUNCTION
メンテナンス
ワイパ゜レベ゛ル <ent>
ENTER
メンテナンス
ワイパ゜レベ゛ル :1/1
1/2, 1/3, 1/4
FUNCTION
メンテナンス
ジ゛コク セッテイ <ent>
ENTER
メンテナンス
DATE=xxxx.xx.xx
ENTER
メンテナンス
DATE=xxxx.xx.xx
メンテナンス
TIME= xx:xx:00
メンテナンス
TIME= xx:xx:xx
ENTER
FUNCTION
メンテナンス
マシン ジ゛ョウホウ <ent>
ENTER
メンテナンス
バ゛ージ゛ョン <ent>
ENTER
MAIN Ver xx.xx
I/F Ver xx.xx
メンテナンス
シリアル No <ent>
ENTER
メンテナンス
S/N ********
メンテナンス
デ゛ィーラー No <ent>
ENTER
メンテナンス
D/N ********
FUNCTION
DISPLAY <ENT>
ENTER
DISPLAY
English <ent>
Japanese,
Portguese,
Italian,
Spanish,
French,
German

索引

ノ

ハ

ヒ

フ

ヘ

ホ

マ

ミ

メ

モ

ユ

リ

ロ

ワ